

筑波大学

人文・文化学群

比較文化学類

Online Open Campus

2021



目次

はじめに	2
先生方にインタビュー	3
筑波大学の一年間	7
宿舎について	9
グローバルヴィレッジについて	11
アパートについて	12
宅通について	13
バイトについて	14
サークルについて	15
つくばの交通事情	17
アンケート結果～生活編～	18
アンケート結果～受験編～	27
一般入試について	36
推薦入試について	41
AC 入試について	48
終わりに	52
編集後記	53

はじめに

こんにちは。今年のオープンキャンパスは、感染症拡大防止のため、オンラインの形態をとって開催することになりました。私たちもぜひ皆さんと直接お会いして、比較文化学類の魅力を一緒に感じたいと思っていたのですが、残念です。ですが、残念だと言ってもとにかくできることをやるしかありません。(今、カッコいいこと言っちゃいましたね) そのため、私たちが皆さんに例年通り、とはいかなくても可能な限り比較文化学類を知っていただけるようにweb上でこのパンフレットを公開することにしました。また、これは宣伝になってしまいますが、先生方や比較文化学類生からオンライン上ではありますが、交流することができるイベントもありますので、そちらにもぜひご参加ください。

このパンフレットは、比較文化学類の1年生と2年生を中心に作られたもので、受験勉強や学生生活に関する情報と未来の比較文化学類生に対する愛がぎゅぎゅっと詰まっています。蒸し暑くてアイスしか食べたくなくなるような天気だし、コロナウイルス蔓延はいつ止まるのか分からないし、それでも受験勉強は必要だし……。というような気持ちになっている方もいらっしゃると思います。そんな方も、もちろんそうでない方も受験勉強の息抜きにお茶やコーヒーを片手にこのパンフレットを読んで、クスッと笑って、勉強のモチベーションを向上させるお手伝いできればと思います。

最後になりましたが、先ほども書きましたように蒸し暑い日々が続いています。執筆者も扇風機の風にあたりながら暑い暑いと言って書いています。水分・塩分補給をこまめにしてくださいね。それと、冷房にあたりすぎると体が冷えてしまうので、たまにはシャワーだけでなく湯船にもつかりましょう。(って、親戚のおばちゃんみたいなこと言っちゃいましたね、すみません) オープンキャンパス委員一同心をこめて、楽しく執筆しましたこのパンフレットが皆さんの支えや参考に少しでもなることを願っています。ぜひ最後までお付き合いいただければと思います。

先生方にインタビュー！！

比較文化学類学類長の伊藤純郎先生と、カリキュラム・ガイダンス委員委員長の山澤学先生に比較文化学類や筑波大学の魅力についてお話をうかがいました。私も筑波大学の学生ではありますが、「大学ってこんなに素敵で有意義な時間を過ごせるところなんだなあ」とわくわくしました。

インタビュー①：お忙しいところありがとうございます。

伊藤学類長：いえいえ、なんでも聞いてくださいね。

お優しい……、このように学生に先生方が寄り添ってくださるのも比文（比較文化学類は略称で「比文」と呼ばれることが多いです）の魅力かもしれません。

インタビュー①：比較文化学類の魅力は何ですか？

伊藤学類長：一言で言えば**自由**なところかな。「比文らしく自分らしく」とあるように**自分で問題意識を持てば、6領域17コースで横断的・学際的に学べる。**

インタビュー①：問題意識……、なるほど。自分の学びたいことをどんどん伸ばすイメージなんですね。

伊藤学類長：そうそう。それで、そのやり方が多種多様なんだよ。例えば、富士山に登るとして普通は静岡側から登るか、山梨側から登るか、と考えるでしょ？でも、比文の場合は空を飛んで上空から山頂に降り立つ、というやり方をしてもいいんだ。

インタビュー①：例えがわかりやすい……。あらゆる領域の視点から1つの問いを解き明かしていく感じなんですね。

伊藤学類長：そうだね、言わば比文は中央図書館の文系的な棚を網羅している学類なんだ。別の視点から見ると、また新たな発見や興味が見つかることもあるしね。そのためには、構内で学べることはもちろんだけど構外で学べることも大きいよね。

インタビュー①：構外で学ぶと言えば、一番わかりやすい例はフィールドワーク（現地に赴き実態に即した調査・研究を行うこと）とかですか？

伊藤学類長：そうだね。フィールドワークやディスカッションの形式の授業が豊富なのも比文の特徴の1つかな。主体的な学び、が重視されているしね。

インタビュー①：そのためには、やはり先ほどおっしゃった問題意識を持つことが大事なんですね。

伊藤学類長：何のために比文に入るのか、何を比文で学びたいのか、というパイオニア精

神が大事だね。自分のコアになるものを持って、かつ視野を広められるような学びをできるようにね。「比文らしさ」という点では、比較文化学類の公式ホームページに載っている新旧『比較文化学類への招待』にもそれが表れているね。だいぶ印象が違うでしょう。

インタビュアー①：本当だ！私、新バージョンも好きですけど、旧バージョンも好きです。イラストがかわいい。（『比較文化学類への招待』は比較文化学類公式サイトから閲覧することができます。ぜひご覧ください）

インタビュアー②：私は新バージョンの方が好きかもしれません。何を比文で学べるのかがイメージしやすいです。

伊藤学類長：このように、表紙1つをとっても受け取り方や好みがそれぞれ違う、まさに「比文らしく自分らしく」なんだ。

お互いの違いを認めつつ、尊重しあう、自由な雰囲気。そして、自らの問題意識を大切に様々な視点・方法から研究に取り組む。居心地の良い素敵な一面と学問にしっかり取り組む一面を両方持っているところが比文の魅力なのですね！

インタビュアー①：筑波大学の中でおすすめ・お気に入りのスポットは何ですか？

山澤先生：並木道ですかね。あそこを自転車で走ると風がきてとても気持ちいいです。

伊藤学類長：あの爽快感は、自転車社会の筑波大学の風物詩だよなあ。体芸棟～松美池～1学に続く坂道も良いですよ。あの開けた感じ。それと、噴水のそばにある芝生も良いですよ。

山澤先生：良いですよ。あそこでお昼は学食のお盆をもってご飯を食べたり、夜は星を見たりしたなあ。

インタビュアー①：素敵……！！

山澤先生：それと、宿舎の共用棟。小さいお店があったりして（現在は残念なことにありませんが……、行って見たかったですね）、「まだ開店しているかな」なんて走ったのが懐かしいですね。

伊藤学類長：お風呂も良いですよ。友人とお風呂に入って、そのあと食堂に行く、の黄金ルートが最高だったなあ。

インタビュアー①：平砂学生宿舎には、まだ共用の大浴場がありますよね。

インタビュアー②：一の矢学生宿舎には無いですけど、シャワールームが使えます。*学生宿舎に関しては、詳しく記載した記事があるので、そちらをご参照ください！

インタビュアー①：一の矢って、夏になるとカブトムシかクワガタかが採れますよね。

伊藤学類長：そうそう、採れるよ。

山澤先生：採れます、採れます。

伊藤学類長：宿舎は本当に思い出深いなあ。伝言板があったり、テレビなんて持っている人が少ないから、もらいテレビなんて行ってほかの人に家におじゃまさせてもらって観たりしたなあ。

山澤先生：あと、公衆電話も懐かしいですね。携帯電話がなかった時代なので、家族と連絡を取るときに、よく使いました。構内ではないのですが、つくば駅周辺にあるクレオも懐かしいですね。お休みの日によく行きました。

伊藤学類長：そうそう、今は桜地区が栄えているけど、あそこに昔道路はなかったんだよ。

ここで、現在と3,40年前の桜地区の交差点の地図をお見せしてくださいました。

インタビュアー①：わ、本当だ、交差点が無い！！

伊藤学類長：でしょう。それがなかったころは、そこで発掘調査を行っている学生もいたんだよ。ちなみに、この地図は授業でも使った地図だよ。

新旧の地図を比較するのは楽しいですね。地名や区画等にそれができる前の地域この秘密が隠されているかもしれません。また1つ新しい発見・興味がわきました。大学ってやっぱり楽しいなあ。

山澤先生：そうですねえ。本当にいくつでも挙げられますね、楽しかったなあ。

1つ1つの場所が思い出であり、おすすめの場所なんですね。筑波大学は、自然が豊かで外に出ているだけでも爽やかな気持ちになれます。皆さんもぜひ、筑波大学できらきらしたガラス玉のような思い出を色んな場所でたくさん作ってくださいね。

インタビュアー①：先ほどのおすすめのスポットに関連した質問なのですが、おすすめの学食の場所・ご飯屋さんを教えてください。

伊藤学類長：やっぱり二学食堂かなあ。メニューが豊富で、よく定食を食べていたなあ。

山澤先生：私もそうですねえ。それこそ芝生に持って行って食べるとか。

二学食堂（通称二食）は、比文生がよく利用する食堂です。学食がおいしい大学は素敵な大学です！（執筆者調べ）ぜひ筑波大学で学食を食べてくださいね～。

伊藤学類長：らんぶとかドルフ（どちらも喫茶店です）もおいしいですよ、僕らの時代からあったなあ。

山澤先生：あじ彩の定食もおいしいですよ。

インタビュアー①：クラレットとかもありましたか？（余談ですが、執筆者はクラレットが好きです）

伊藤学類長：あったよ、あそこは昔からあるねえ。

先生方のおすすめの学食・ご飯屋さんを聞いているとおなかがすいてきました（そして現在執筆していても、またおなかの虫が鳴っています）つくばはおいしいご飯屋さんの宝庫です！

インタビュアー①：最後に受験生に向けて一言お願いします！

伊藤学類長：比文は魅力的なところですよ！学生生活をより楽しいものに出来るかは、皆さん次第です！

山澤先生：なんでもトライできる、「本当の文学部」のようなところですよ、ぜひいらしてください！

伊藤学類長・山澤先生：来年**キャンパス**でお会いしましょう！

インタビュアー①・②：お忙しいところ、ありがとうございました！

学類長と山澤先生がお話ししてくださったように、比較文化学類はこのパンフレットには書ききれないくらいの魅力にあふれた学類です。（それでも、言葉で伝えることが可能な限り魅力をお伝えできればと思っているので、最後までお付き合いいただければと思います）ぜひ来年皆さんが比較文化学類の新生としてご自身の学問の探求を深めたり、自転車で風をきったり、お友達とご飯をおいしく食べることをお祈りしています！健康第一で受験勉強、頑張ってくださいね！

最後になりましたが、お時間を作ってくださった伊藤学類長と山澤先生に重ねてお礼申し上げます。私たち自身で、そして来年の新生と素敵な学生生活および充実した学びを作り上げていこうと思います。

筑波大の一年間

こんにちは。ここでは、筑波大学での一年間を紹介します。といっても昨年度、今年度はこの状況なのでかなりの行事が中止やオンラインの開催に追い込まれています、、、(泣)。そういうわけで筆者自身経験していないこともたくさんありますが、今年度ならではの体験を交えて執筆させていただきました。

《春学期》

4月

☆入学式・オリエンテーション

真新しいスーツを着て入学式へ、、、！筆者は友達ができるか不安すぎてずっと緊張していました。入学式終了後から数日間はオリエンテーションです。今年度は入学式・オリエンテーションともに対面開催だったのですが、授業はほとんどオンラインなので、ここが唯一比文生みんなと触れ合える場でした（5月現在）。授業が始まると、ほとんど自宅に引きこもりっぱなしになってしまうので、ここで勇気を振り絞っているいろんな人に話しかけて友達を作りましょう！

5月

☆春季スポーツ・デー

例年だと最初の行事らしいです。ガチで試合をするもよし、ふらっと立ち寄って遊ぶもよし、実行委員になって行事を運営するもよし、と様々な楽しみ方があります（実行委員、楽しいよ！）。今年度は縮小開催の予定でしたが、感染拡大をうけて全面中止となってしまいました、、、。

☆宿舎祭（通称：やどかり祭）

やどかり祭は、1年生が主体のお祭りです。学類対抗の神輿パフォーマンス、クラスごとの模擬店などで、比文生と仲良くなれます。昨年度に引き続き2年連続の中止となり、存続の危機になってしまっているのです、筆者は来年度の開催を願っています、、、！

6月

☆春A・Bモジュール期末試験

筑波大学は1学期がA、B、Cの3つのモジュールに分かれていて、モジュールごと授業が開設されています。比文生が受けがちな授業はだいたいA・Bでの開講なので、この期末期間が一番しんどいです。今年度は試験の代わりにレポートの提出だったり、オンラインでの試験開催だったりしますが、どんな形でもちゃんと勉強することが大事です。

8月

☆春A・B・Cモジュール期末試験

6月がしんどいとはいえ、もちろん春Cまで開講される授業もあるのでここでも期末試験はあります。でも、これが終われば夏休み。コツコツ勉強して試験に臨みましょう。

☆夏季休業

夏休みです！わーい！筑波大学の夏休みは2か月弱あります。バイトで稼いだり、自分で勉強してスキルアップしたり、友達と遊んだり、さまざまな過ごし方があります。1年生だとここで車の免許を取りに行く人が多いです。筆者も例にもれず免許を取りに行く予定です。

《秋学期》

11月

☆そうほうさい雙峰祭（学園祭）

例年11月初めに3日間行われます。模擬店、ステージパフォーマンスなど、大学中が楽しいことだらけの筑波大学一大イベントです！残念ながら今年度は対面開催の中止が決まっています、…。

☆秋季スポーツ・デー

基本的には春と同じものですが、開催種目が一部異なります。

12月

☆秋A・Bモジュール期末試験

春同様ここが比文生の正念場。毎年クリスマスと被ります。クリぼっち回避だね！やったあ！（≧▽≦）

☆冬季休業

大学は休みが長いイメージかもしれませんが冬休みは約2週間と短めです。遠方の人は帰省しにくいかもしれません。

2月

☆春A・B・Cモジュール期末試験

これが終われば長い春休みが待っています！ちなみにバレンタインデーもクリスマスに引き続き勉強で終わります。

☆春季休業

1年間お疲れ様でした。1か月半ほどの春休みです。有意義に過ごしたいですね！

いかがでしたか。みなさんと大学生活を楽しめる日が来ることを心待ちにしています！

宿舎について

筑波大学に宿舎があるって知ってますか？一の矢宿舎住民がほんの一部ですが紹介します。

- ・宿舎とは…???

大学ができたころ筑波は森だった。そうアパートが少なかった。
そのため宿舎ができたそうです。4つの地区があります

- ・比文生はどこに住んでる？

今は平砂と一の矢、二箇所に分かれています。基本的な仕様は変わらないと思います。

- ・大学からの距離は？

近いとかじゃなくて大学の中にあるよ！宿舎も大学の一部です。

- ・家賃は??

安い。アパートに比べると物凄く安い。Wi-Fiもあります！

- ・立地はどんな感じ？

近所に色々揃ってる(※あくまで平砂宿舎)羨ましい

森。特に一の矢。そのうち人ならず者が出そう。それでも私は驚かない。

自転車は人権。色々なところに行こう！！

- ・虫でますか??

綺麗に管理すればGに出会わないと信じたい。カブトムシにも会えるらしい。

- ・部屋の広さは？

狭い。部屋により差がある。先人の知恵が活かされる。

- ・部屋に最初からあるのは？

ベッドと”洗面台”。他は共用。不便なところもあるけど掃除しなくて良いのは楽。

あくまでこれは主観が含まれます。そしてほんの一部です。

実際に自分の目で確かめて欲しいです。

番外編—先輩方から見た学生宿舎—

筑波大学の先輩にお話を伺う機会がありましたので、簡単にですがご紹介します。

・大学で1番心に残る風景

平砂1号棟に住んでいた。今は女子棟になったので不法侵入になるのが寂しい。

共用棟の中に食堂、風呂、簡易的な店があったので、大学と宿舎を結ぶ世界で生活ができた。

今でも宿舎に行くと学生時代を思い出す。

生活圏が狭かったので土浦駅までが限界。東京行くのは1日掛

高速バスができた時東京に行けるようになったのが嬉しかった。

・いろいろなものが共用

TVない。先輩のところに見に行った。

電話もない。実家から連絡があると管理棟から呼び出しが来た。

三種の神器

→自転車、冷蔵庫、ラジカセ（英語の授業の課題で使った）

現在は平砂のみにある共同浴場が追越にもあった。

→浴場での裸の付き合いをきっかけにご飯に行った。

・その他

カブトムシはどの宿舎にも割といる。追越でクワガタがいた。

セブンイレブンができた頃（7時～夜11時までの営業）当時の売店はイレブンセブン（昼11時～夜7時）

当時のセブンのCMとは違った意味で”開いててよかった”

周りに店がない（今以上にない）森だった。今の桜地区で発掘してた。

筑波大学の宿舎は大学と同じくらい歴史があるので、もし、家族や先生に筑波大卒の方がいらっしゃったら話を聞いてみるのもいいかもしれませんね。世代によって設備や周りの様子は異なってくるみたいです。

グローバルヴィレッジについて

皆さん、受験勉強の息抜きに、大学入学後の住まいについて考えてみてはいかがでしょうか。ここでは、上流階級感溢れる(?) 我らがグローバルヴィレッジについてご紹介します。

*グローバルヴィレッジは「国際交流を重視したシェアハウスタイプの学生宿舎」(大学 HP より引用)です。略称は「グロビ」なので、以下グロビと呼ばさせていただきます。2017年に運用開始したばかりとあって、めちゃめちゃ綺麗です。入居時はあまりの綺麗さにモデルハウスかと思いました。(なお概要については、大学 HP にてキャンパスライフ>奨学金・学生生活の支援>学生宿舎・アパート情報と進んだ先の「学生宿舎のご案内」という pdf を参照してください。)ここからは、私が実際にグロビに住んで感じた、グロビのメリット・デメリットと注意点についてお話ししたいと思います。

***グロビのメリット**としましては、一番は人と会える・留学生の方と交流できることです。特にこのコロナ禍において、引きこもっていても人との関わりが持てるのは貴重だと思います(定期的に人と話さないと心がもたないので…)。また筑波大学に留学生が多いと言っても、やはり自分からコミュニケーションを取らなければ交流は持てません。その点、同部屋に留学生がいると交流しやすいのがメリットです。私は留学生の方に、自国の言葉や食文化について教えていただいたことがあります。あとは、やはり快適なことです。他の宿舎に住んでいる方からは早々に脱獄の話を耳にしますが、グロビに入居してすぐに引っ越す方はあまりいないように思います。ちなみに契約期間は二年間(途中の退去可能)で、その後は抽選となっています。

***グロビのデメリット**は大きく分けて2つですかね。まず、共用部分の使用時間が被る可能性があることです。キッチン・お風呂・トイレ(二か所)が共用ですが、特にお風呂の時間が被ってしまった時は時間の潰し方に困ります。メンバーの生活リズムにもよりますが、上手く時間帯をずらせるといいですね。次に、メンバーと相性が合わない可能性がある…ことです。まあ、こればかりは運です。グロビへの入居が決まったら毎日神様にお祈りしてください。ユニットによって、交流の程度や部屋の綺麗さは様々といえます。

***グロビに住むうえで気を付けたいこと**は、生活を共にする仲間としてユニットメンバーへの気遣いを忘れないことと、人によるのかもしれませんが適度なコミュニケーションを取ることです。是非ユニットメンバーの方と積極的に交流してみてくださいね。

以上簡単ですが、グロビの紹介でした！色々と書きましたが、個人的にはグロビ、すごくおすすめです。正直英会話を覚悟していましたが、(少なくとも私の場合は)問題なく日本語で会話できています。あくまで一個人の意見ですが、参考になりましたら幸いです。では。

つくばのアパート暮らし

こんにちは！ここでは筑波大生のアパート暮らしを紹介します。

☆費用面⇒筑波大学周辺のアパートの家賃は3万円台～5万円台です。ちなみに私のアパートは8帖+キッチン+風呂トイレ別で家賃4万3000円（インターネット料含）です。

☆アパート選び⇒桜、天久保2丁目、3丁目、4丁目、春日4丁目が大学周辺の地域になります。上記の場所なら、どこに住んでもストレスなく学校に通えると思います。筑波大学周辺にはたくさんの不動産屋があるので、不動産屋を訪れて実際に内見しましょう。物件の条件としてモニター付きインターホン（宗教勧誘対策）と独立洗面台をつけるのがオススメです！

☆アパート暮らしのメリットとデメリット

《メリット》

1. 完全プライベート空間⇒やはり一番はなんでも自分の意のままにできるプライベート空間を得ることができることです。
2. 自分の意志100%で生活できる⇒付き合いに乗るも断るも完全に自分の意志で決められます。
3. 友達を家に呼べる⇒アパートは、宿舎に比べて広いので、友達が家によく来ます。

《デメリット》

1. 生活習慣が乱れがち⇒遅寝遅起きになりがちです（今年度はオンデマンド授業が多いので昼夜逆転している人もいます、、、）
2. 食生活が乱れがち⇒一人暮らしはだれもご飯を作ってくれません。作るのが面倒になってカップラーメンやウィダーインゼリー暮らしにならないように、、、！
3. 孤独⇒現在ほとんどがオンライン授業なため、なにもなければ家にこもりっぱなしです。自分で人間関係を築いて、たまにリフレッシュする行動力が求められます。

☆あると便利なもの

個人的に買ってよかったものを紹介します。

○プリンター⇒オンライン授業は資料を自分で印刷する必要があるものが多いので私はないと生きていけません。

○ネット動画付きテレビ⇒テレビなんて見ない！という方が結構いらっしゃると思います。しかし、ネット動画をテレビで見られるテレビは、高画質で見たい動画が見られるので便利です！

以上でアパート暮らしの紹介を終わります。みなさんが素敵なキャンパスライフを歩めることを心より願っています！

宅通について

宅通とは

「宅通」という言葉自体、聞きなれない人が多いかもしれませんね。筑波大では、一人暮らしをせず、実家から通学している人たちのことを「宅通」と呼びます。

大学周辺で一人暮らしをしている人が大多数である筑波大。宅通は、20人クラスに2、3人いるくらいの印象です。時には「多苦痛」なんて言われてしまうこともあります、もちろんメリットだってたくさんあるんですよ！

ここでは、そんな宅通事情について、現役宅通生がご紹介します。

宅通生の通学事情

一口に「宅通」といっても、通学方法や通学時間は様々です。

まずは、電車などで他県から通学しているタイプ。何時間もかけて通っている方もいます。なんとなくですが、自立していて都会的な人が多いイメージ。

次に、県内からバスなどで通っているタイプ。個人的に周りが多いなと感じるのがこのタイプです。通学時間は片道一時間前後という人が多いみたいです。

そして、自転車や徒歩で通える距離から通学している人もいます。大学への近さや遊ぶ場所などでいえば、一人暮らしの方の環境とほとんど同じかもしれませんね。

また、筑波大学は敷地が果てしなく広いため、通学方法によらず、構内に自転車を常備している人が多いです。

宅通のよいところ

冒頭でも述べましたが、少数派の宅通にもメリットがたくさんあります！スペースの関係もありますので、ここではそのうち二つをご紹介します。

まず、圧倒的に住環境が整っていることです。食事の支度から洗濯、掃除、お金の管理、虫退治まで全部一人でこなすのは思っているより大変です。私も、一人暮らしの友人の話聞くたび感心してやみません。実家に住んでいれば、家事は家族と分担して行えますね。

また、本や漫画が好きな人なら、自分の蔵書をすべて手元に置いておけるというのもメリットの一つです。宿舎やアパートはスペースが限られているため、涙をのんでお気に入りの漫画を実家に置いてきた、という話をよく聞きます。ピアノなど場所をとる趣味を持っている方も、宅通の良さを存分に生かせるはずですよ。

以上が宅通事情についてでした！ここまで読んでくださり、ありがとうございます。

比文に興味を持ってくれた皆さん、ぜひ宅通も選択肢の一つに入れてみてくださいね。

バイトについて

筑波大学には日本全国から、そして海外からも多くの人が集まってきます。そのため多くの学生が親元を離れて一人暮らしをしているわけですが、そんな一人暮らし大学生は自分の生活費や食費、学費、交通費などなど、そして何よりも自分のお小遣いを稼ぐためにバイトをしなくてはなりません。一方で実家から通っている大学生もその家庭のルールに則って自分の学費、食費、交通費などなど、そして何よりも自分のお小遣いを稼ぐためにバイトをしなくてはならないことでしょう。つまり、もれなく全ての筑波大生はバイトをしなくては行けないのです！まあ、してない人も少なくないですけど。

というわけで、ここでは筑波大生のバイト事情について、個人的な体験談を書きたいと思います。筑波大生がどのようなバイトを行っているのかについてはアンケート結果の記事がありますので、ぜひそちらをご覧ください。

まず筑波大生のバイト事情の一つの例として、私の場合を書きます。私は現在バイトを二つやっています。一つは接客業で、このバイトは毎月の初めにバイトに出られる日を店長さん達に提出する形で一ヶ月ごとのシフトを組んでいます。もう一つは倉庫で出荷される商品にラベリングしたり仕分けしたりするもので、日雇いバイトの一種なので電話で派遣会社に連絡をとることで前日からでもそのバイトに入ることができます。

私のバイトのスケジュールは、接客業は定期的なもので、暇ができたときなどにもう一つの日雇いバイトを入れる形になっています。二つのバイトを掛けもっているとはいえ、片方は自由にシフトを組めますし、忙しすぎる感じはあまりしません。このように二つ以上のバイトを組み合わせている人も筑波大学には多いと思います。

また、友人には家庭教師や学習塾の講師をやっている人もいます。これは大学生ならではの感じですね。これらのバイトは時間外労働（教材の準備など）が多いというデメリットも聞きますが、時給は高く、やりがい大きいという話もよく聞きます。

バイトの探し方についてですが、私はどちらのバイトも友人に教えてもらって見つけました。友人に聞く、先輩に紹介してもらおうといったバイト探しの方法は結構多くの人やっている印象です。他にはやはりバイト探しにアプリを使用する人も多いです。いくつかのアプリをダウンロードして探してみるのがおすすめです。

以上が筑波大生のバイト事情・一個人の例になります。私は大学生になって初めてバイトをやりましたが、面接に行くときはかなり緊張したのを覚えています。でもみんなそんなものかなと思います。なので、緊張してもみんなこんなもんだろ、と達観しててください。何事も経験ですしね。それでは、また！読んでくださりありがとうございます。

サークルについて

ここでは筑波大学生のサークル事情について、体験談的なものを書いていこうと思います！『比文生に聞いてみた！～生活編～』に比文生を対象にしたアンケートも載っていますので、併せてご覧ください。

・サークルって？

サークルとは学生が主体となって課外活動を行う団体のことです。サークルの他に課外活動団体としては部活動や同好会なども存在します。これら団体の違いは、大学によっても体育系と文化系によっても異なるため、はっきりということはできません。私の主観では、部活動はかなりハードでやりがいも十分、サークルや同好会などは自由度が高く程よく楽しい、といったイメージです。

・筑波大学の部活・サークル

筑波大学には体育専門学群があるため部活動も強いところはとことん強いです。またそれに伴ってサークルや同好会のレベルも高く、場所によっては他の大学の部活動レベルのところもあるという話を聞くことがあります。あまり調べずに参加すると痛い目を見るかも、しれませんね。

また、メジャーなスポーツのサークル・同好会は複数存在することがあります。それでももちろん全てのサークル・同好会が高いレベルを求めてくるわけではありません。自分のニーズにあった活動団体はきっと見つかるはずです。

・筑波大学の部活・サークルの数

筑波大学のホームページを調べてみると、令和3年度4月1日時点で237の団体が存在しているようです。詳細は「筑波大学 サークル」でぜひ検索してみてください。

・体験談

ここからは私の個人的な体験談を書いていこうと思います。何かの参考になれば幸いです！

私はただいま、サークルと部活それぞれ一つずつ、合計二つの課外活動団体に所属しています。それに加えて、とある委員会にも所属していますし、比較文化学類のオープンキャン

パス委員にも入っています。あとバイトも週に2～3回やっています。

これだけ聞くとなんかめっちゃ忙しそう！って思えるかもしれませんが、実はそんなこと全然ないんです。サークルは週二回で、それもバイトが重なるなどで参加できないときはかなり気軽に欠席できます。部活動の方も週一回ほどの参加で、他の部員の方ほど参加できていませんが、そこまで厳しい部活でもないので許していただけている状況です。同じように委員会も週に一回十数分で終わるミーティングに参加するだけなので、あまり負担にはなっていません。全ての活動を合計して、ちょうど自分にあった活動ができているといった感じですかね。

このように、筑波大学でのサークルなどの課外活動はかなり自由で、活動への参加の方法も自分次第でいくらかでも組み替えていけます。また、多くの団体に参加すると色々な知り合いが増えます。全国各地から色々なことを学びに筑波に来た多くの人と話せるのも筑波のサークルの良さの一つと言えるでしょう。

以上でサークルなどの課外活動団体についての説明を終わらせていただきます！色々な団体についてもっと詳しくみてみたい方は、ネットで検索してみたり、SNS などをやっている団体も多いのでそちらで情報を探したりしてみてください！それで筑波大学により興味を持っていただけたら幸いです。

ありがとうございました。

つくばの交通事情

●筑波大学周辺

対面授業が減った影響で宅通組が増えたように思います。私もその一人。そんな私たちが一番利用する、駅とバスについてお教えしましょう。

・つくばエクスプレス

筑波大学の生徒なら誰もが一度は使ったことのあるつくばエクスプレス。秋葉原まで45分で着いちゃいます。東京からつくばエクスプレスを使って宅通している人もいますよ。

・土浦駅

土浦駅とつくばエクスプレスは繋がっていないんですよ。いいところと言えば、電車に乗りながら、大きな蓮根畑を眺められることと朝7:00からオープンしているカフェのモーニングセットがめちゃうまなこと、天狼院書店という本屋さんの品揃えが面白いこと、そして駅員さんや店員さんが親切なことですね。別に土浦駅に愛着なんて湧いてるし。これからも未長くよろしくお願いします。

・バス

高速バスと路線バスの二種類があります。高速バスは東京駅や水戸駅まで案外安く行くことができ便利です。

路線バスは、筑波大学で発売されている定期（9500円）を購入すればつくば駅までいつでも行くことができます。

●筑波大学構内

・徒歩

そう、私のことさ！自転車は人権と呼ばれる筑波大学で、自転車なしの過酷な状況下で生活しています。でも案外、人権なくても生きていけるものですね。ゆっくり筑波大学の景色を見ながら歩いてみましょう。あっという間に授業に遅刻だよ♡背後から、左右から、真正面から。爆走してくる自転車に怯えながら今日も私は歩き続ける。今日こそは授業に間に合うと信じて。

・自転車

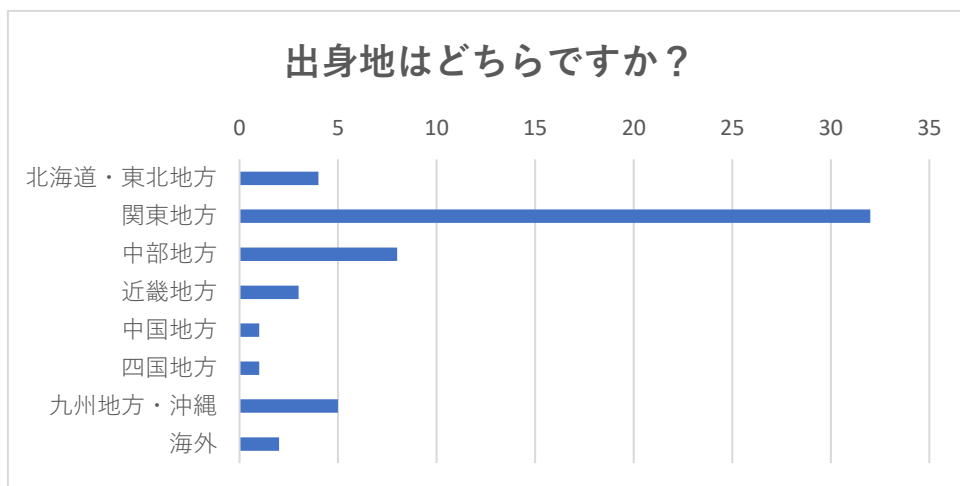
自転車専用のレーンもあって自転車ライフをエンジョイできそうに思えますが、よく聞く悩みが一つ。地味に道路がでこぼこ！何かを得ても、その先にまだまだ苦労がある。人生とは奥深いですね。

・大学構内を循環するバス

徒歩と自転車でなんとかなる場合が多いですが、雨の日だったり実家から戻ってきて荷物が多かったり、バスのありがたみを感じることはよくあります。あとは、授業に遅れそうな時も！定期券を購入すれば、筑波大学構内構内を循環するバスも乗れちゃいますから、どんどん利用しましょう。

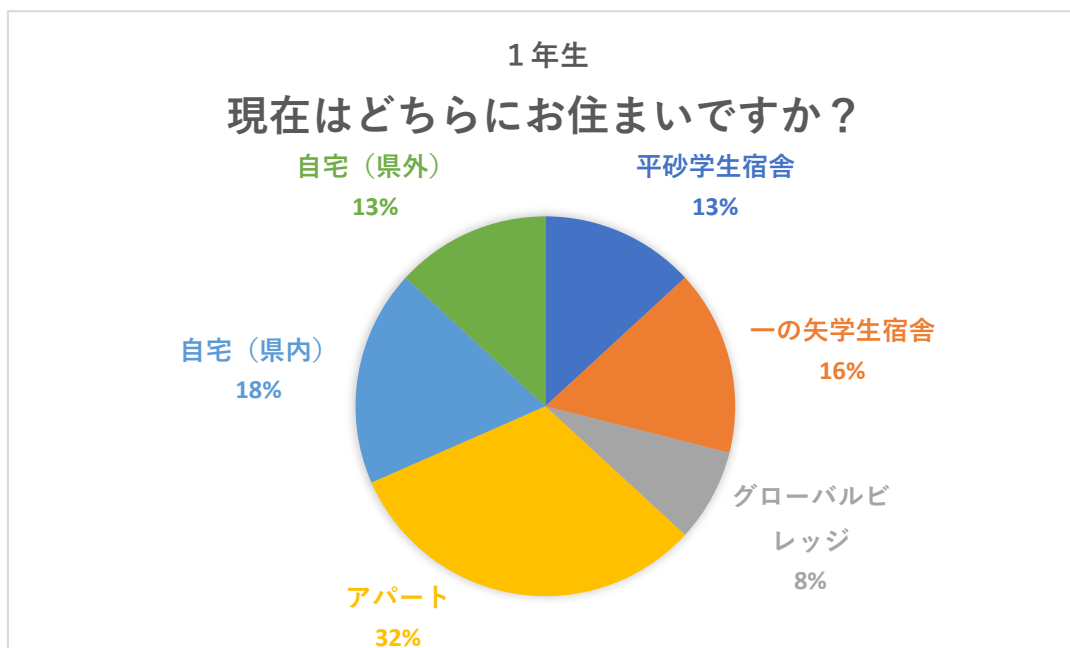
比文生に聞いてみた！～生活編～

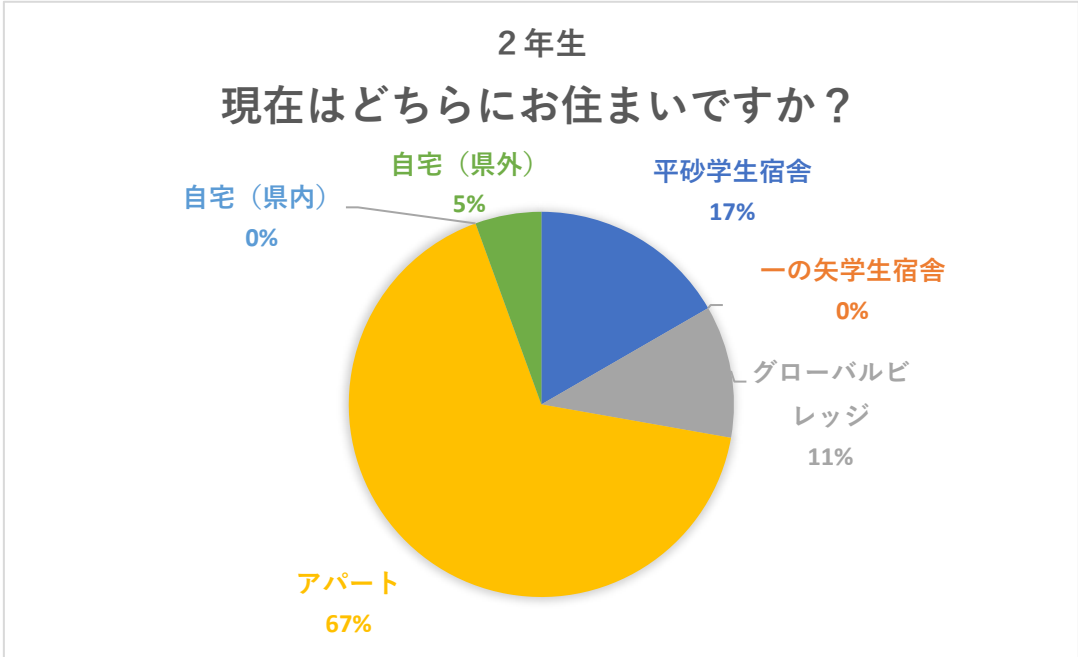
比文に興味を持ってくれたそこのあなた！比文生の生活事情、気になりませんか？どこに住んでるの？どんなバイトをしているの？休みの日は何をしているの？そんな比文生の生態を露わにする質問16個に、1年生38人、2年生18人、計56人の比文生が答えてくれました。



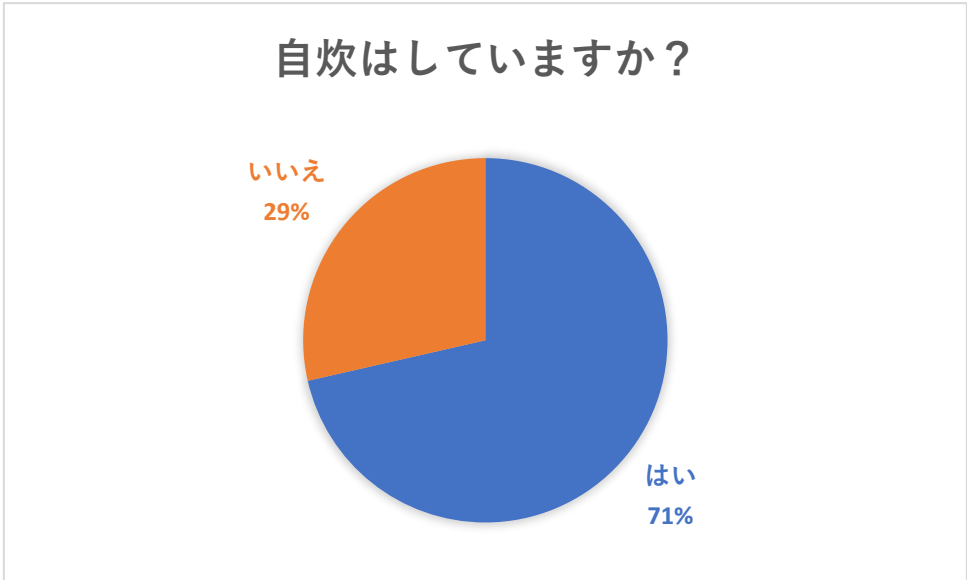
関東地方がずば抜けて多いですね。全国津々浦々の方言が聞けるのも楽しみの一つです。海外からの留学生も在籍していますよ。

続いては、比文生の住まいについて。



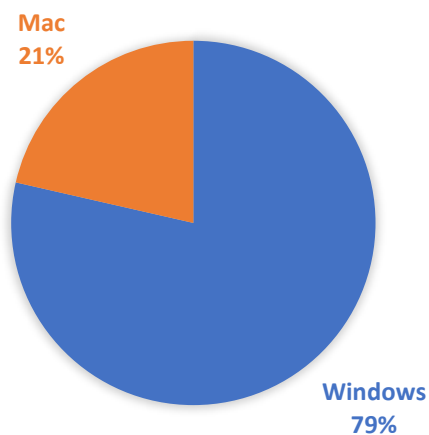


1年生は、学生宿舎に住んでいる方がたくさんいますね。2年生になるとアパートに移る方が多いようです。今年の1年生は、県内の自宅から通う人が多いのが特徴。受験時の地元志向の影響かも？



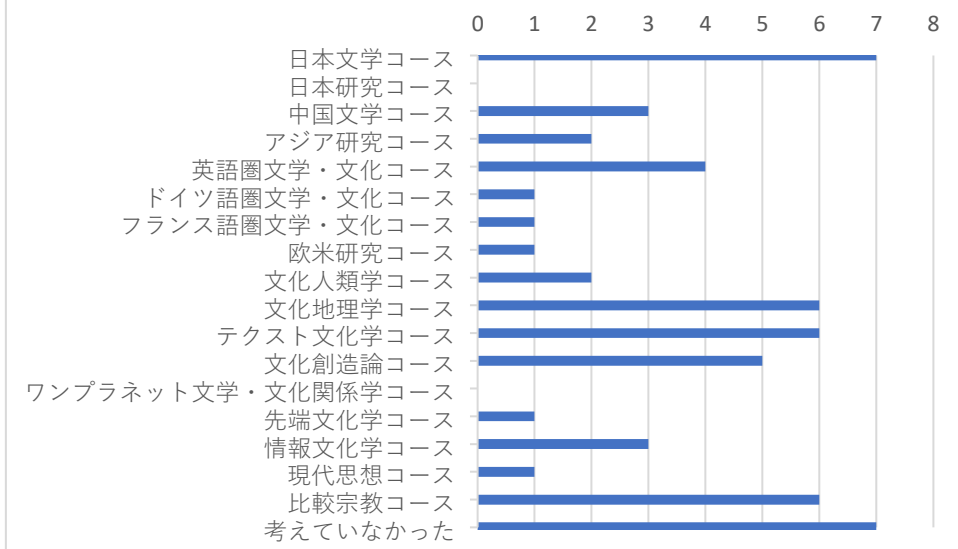
自炊している方が7割も！皆さんたくましく生きています。

パソコンはどちらをお使いですか？



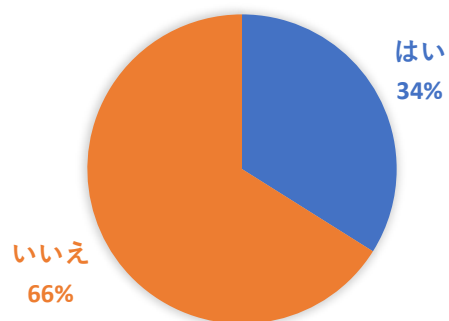
Windowsの方が優勢ですね。どちらでも特に不自由なく使うことができます。Macなど一部Apple製品は、学割で安く買うことができますよ。ちなみに、Microsoft Office 365 (Word、Excel、Power Point) は大学から無料で配布されました。おそらくは来年度も配布されるはず！

入学前に志望していたコースはどこですか？

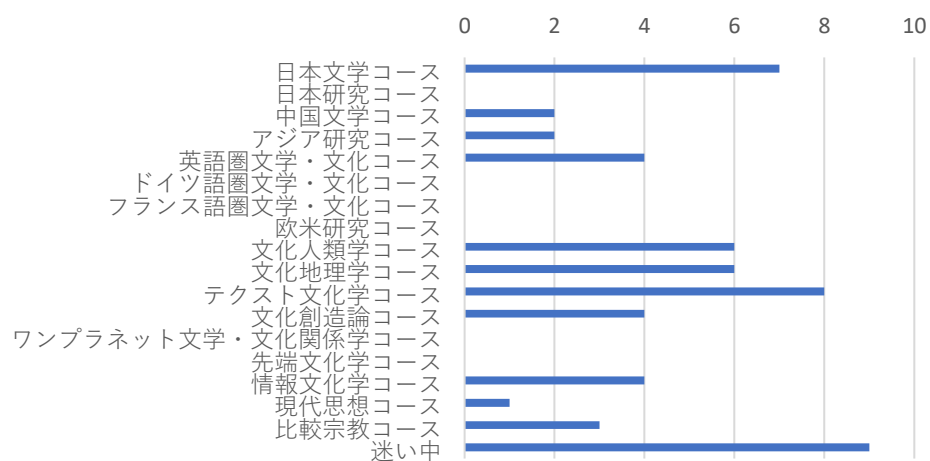


比文には6つの領域と17のコースがあります。詳しくは、ホームページまたは学類公式パンフレットを見てみてくださいね。

入学前と入学後で志望コースは変わりましたか？



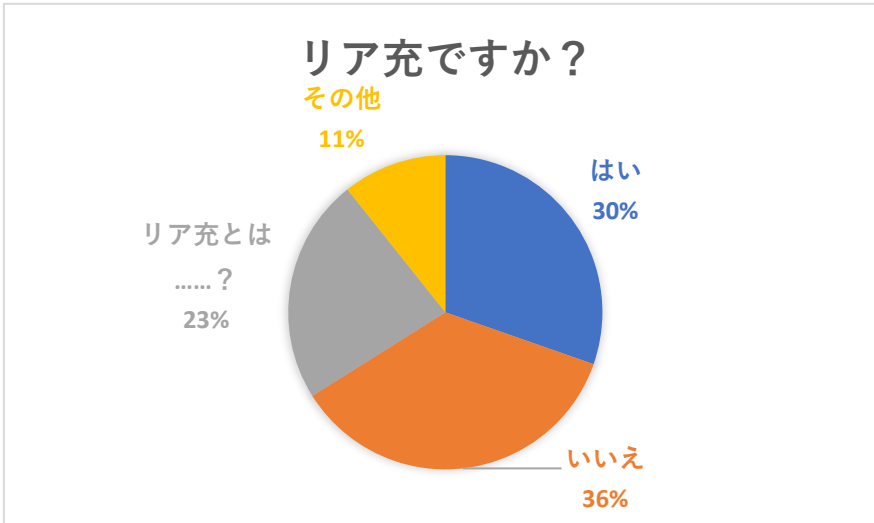
現在の志望コースはどこですか？



入学前から自分の専門が決まっている人もいれば、まだ迷っている人もいます。また、入学してから志望のコースが変わった人もいますね。

コースには3年生から分かれます。それまでは存分に迷うのもアリ！

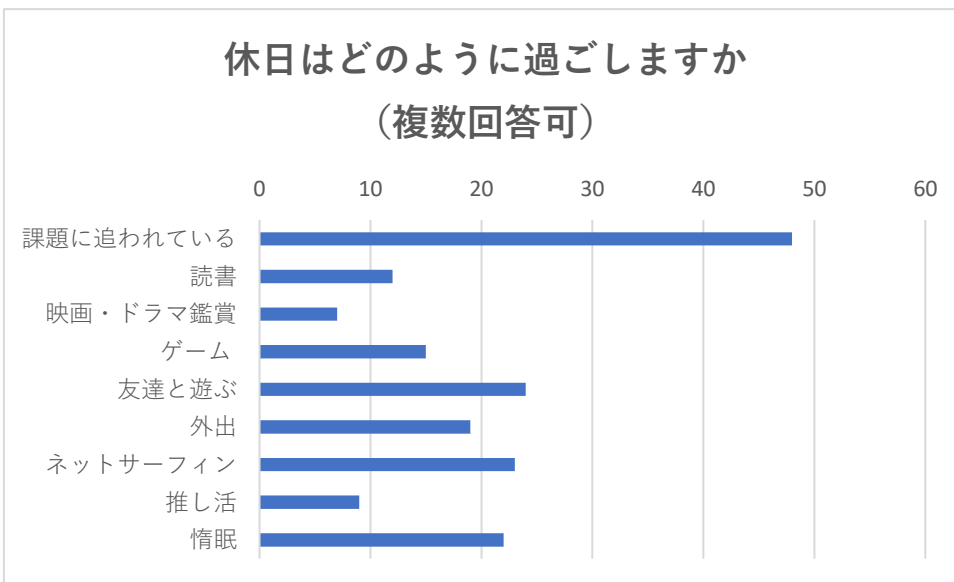
さて、少しまじめな話が続きましたね。というわけで、突然ですが……



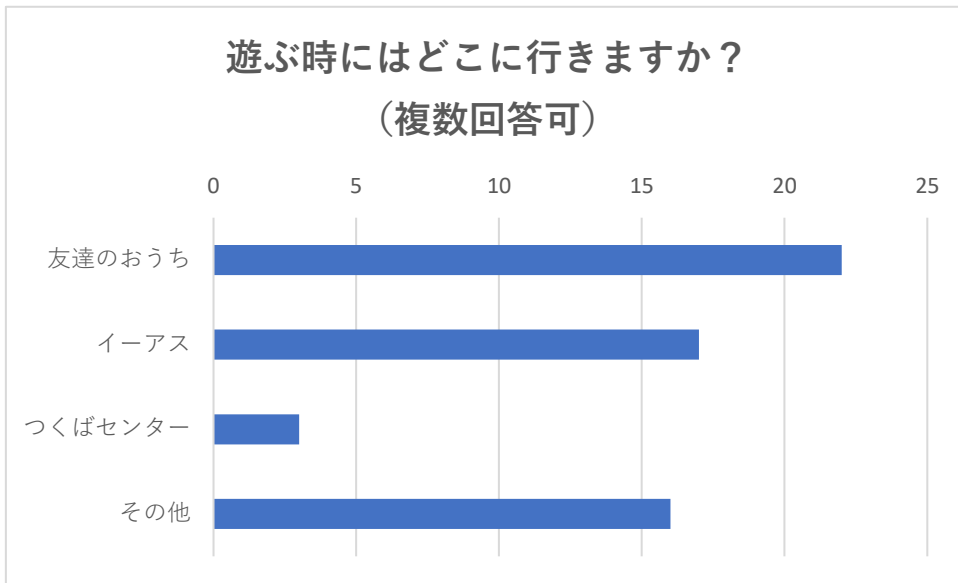
「その他」の回答例：

- ・彼女も友人もいますが課題の重圧が大きすぎて充実感を感じる暇がありません。
- ・恋人がいることだけがリアルな充実をはかる尺度ではない。
- ・ギザ十（ギザ十とは、日本において 1951 年から 1958 年にかけて製造された十円硬貨を指す。硬貨の縁に多数の溝が彫られており、ギザギザになっていることから……）

さてさて、気を取り直して。比文生はどんな休日を過ごしているのでしょうか？



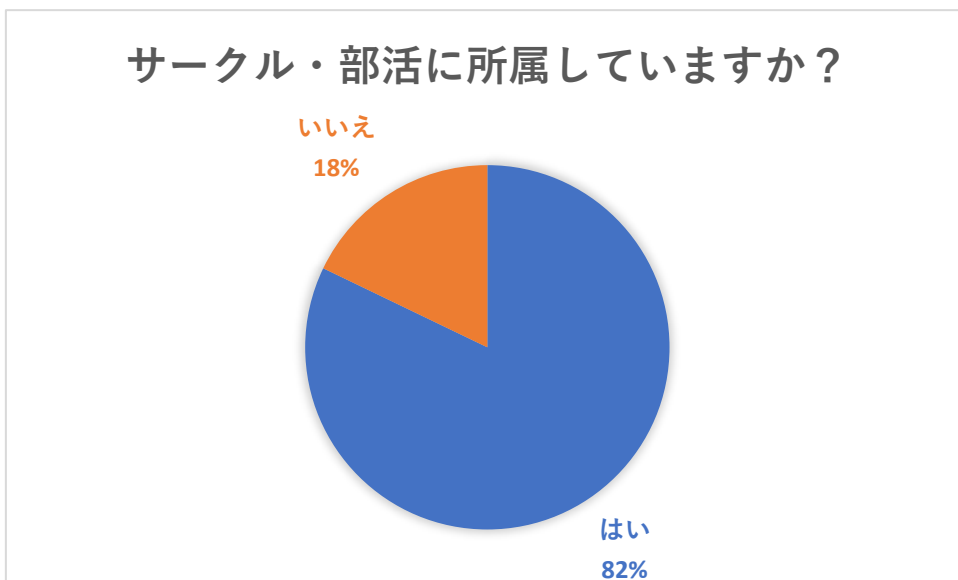
なんということでしょう！「課題に追われている」が堂々一位。オンライン授業の闇が垣間見えているのは気のせいです……。他には、趣味を楽しむ人、友達と遊ぶ人、惰眠を謳歌する人など、さまざまです。



その他の回答：

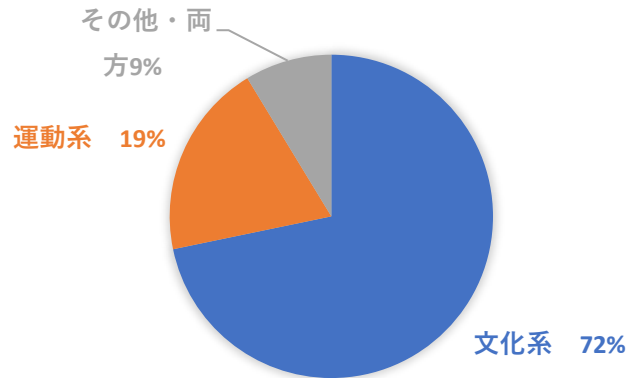
カラオケ、カフェ、自宅、スーパー、外食、温泉、プラネタリウム、遊ばない等……

大学周辺で一人暮らしをする人が多数派という環境から、友達の家で遊ぶことが多いようです。筑波大には、多種多様なサークル・部活があります。サークルや部活を楽しむのも大学生の醍醐味ですよ！



サークル・部活に所属していると答えた方に質問です。

どんな団体に所属していますか？

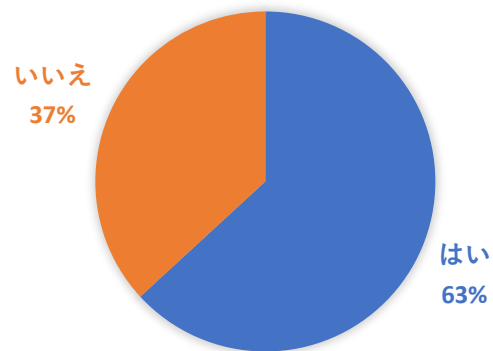


続いては、アルバイトについて。

生活費、遊び、サークルなど、大学生は何かと入り用なのです。

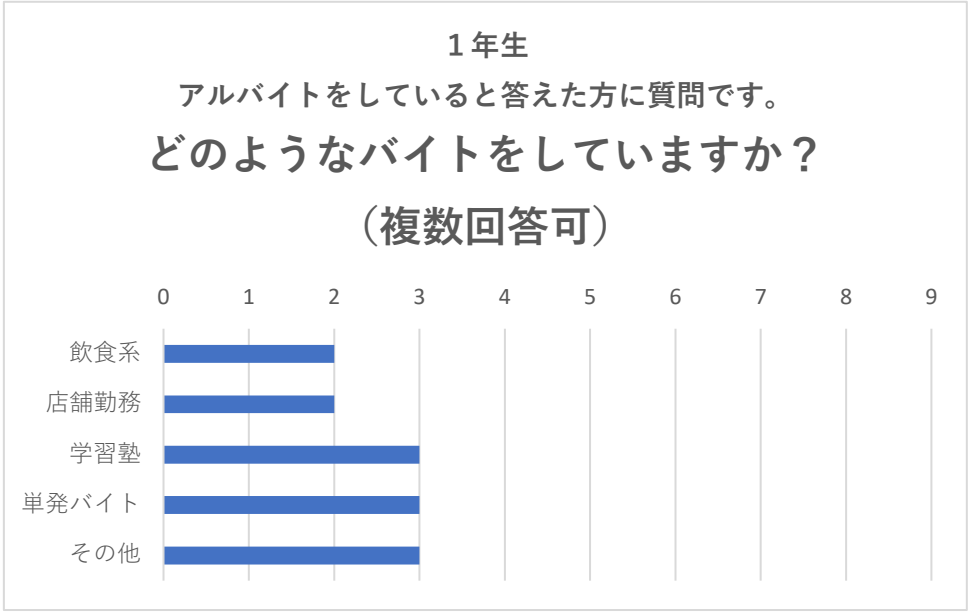
1年生

バイトはしていますか？

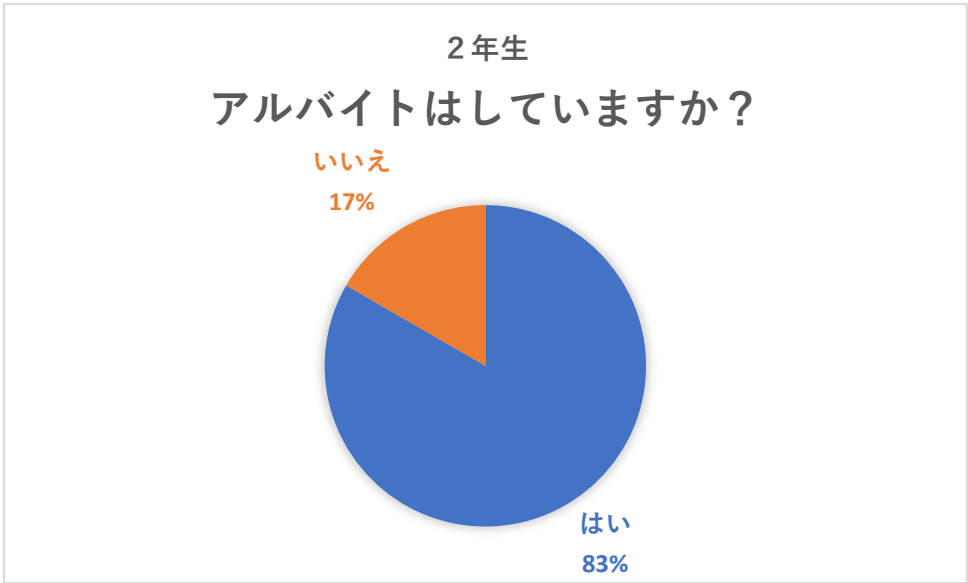


調査は6月はじめに行いました。

入学して2か月。まだバイトをしていない人も結構いますね。



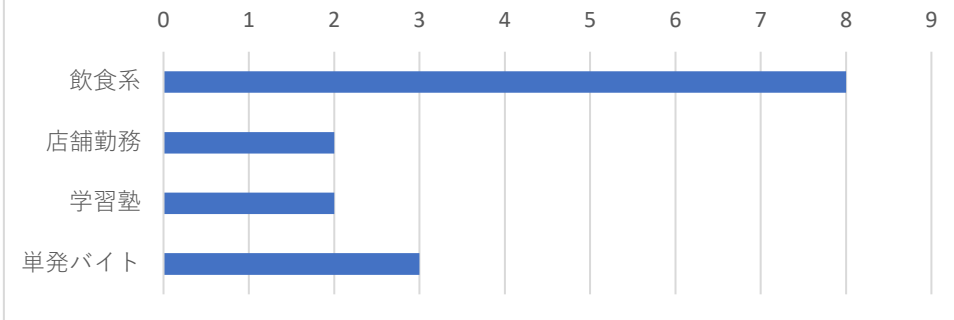
「単発バイト」、「その他」の中には ZOZOTOWN の倉庫バイトをしている方が多いようです。



学業や生活にも慣れ、余裕が出てきたのでしょうか。
2年生になると、アルバイトをしている割合がぐんと増えます。

2年生

アルバイトをしていると答えた方に質問です。
どのようなバイトをしていますか？
(複数回答可)



飲食系が多いですね。まかないが頂けるところも多いと聞きます。

以上で、「比文生に聞いてみた！～生活編～」のコーナーは終わりです。比文生の生活事情について、少しでもイメージを掴んでいただけたら嬉しいです！

読んでくださり、ありがとうございました！！

比文生に聞いてみた！～受験編～

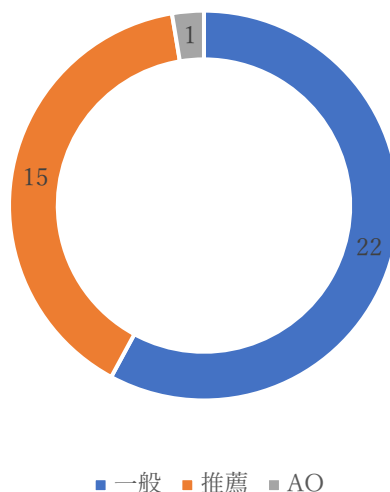
みなさんこんにちは！楽しい大学生活のお話は他の記事でたくさんご覧になっていた
だくとして、ここではちょっと現実的なお話になります。大学生になるために避けては通れ
ないものがあります。そう、受験です。比文生に受験に関する様々な質問に答えてもらいま
した。比文を目指すあなたも、そうでないあなたも、この情報をこれからの受験勉強に役立
ててください！

※2020 年度と 2021 年度では入試方式、募集人数などが大きく異なるので今回のアンケー
トは1年生だけを対象としております。

《全体編》（有効回答数：38）

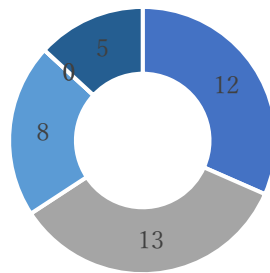
推薦入試の割合が高いのは筑波大学の特徴でしょう。どの入試も形式が違うだけで難
易度は大差ないと思います。入学した後はどの入試方式で入学したかなんて全く関係な
いので、自分の長所が活かせる方式を選んでください！

Q.1 どの入試形態を利用して入学しましたか？



高3の4～8月が約半数を占めているので、受験勉強を始める際に目標として比文を目指し始めた人が多いようです。受験勉強はここに行きたい！という強い思いがあるほうがはかどります。コロナ禍で実際に大学に赴けないので、志望校選びが難しいと思いますが、受験勉強を始めるときには志望校が定まっているようにしたいですね！

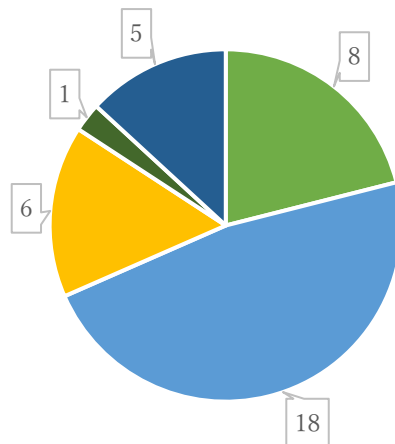
Q.2 いつから比文を志望しましたか？



■ 高2以前 ■ 高3の4～6月 ■ 高3の6～8月 ■ 高3の8～10月 ■ 高3の10～12月 ■ 共通テスト以降

高3になったあたりで始める人が多かったようです。私たちの代は高3のはじめがコロナの影響で休校になっていた人が多いので、例年より少し開始時期が早いかもしれません。私は自分の経験から、まわりの人よりちょっと早く始めて最初に差をつけておくことをお勧めします。

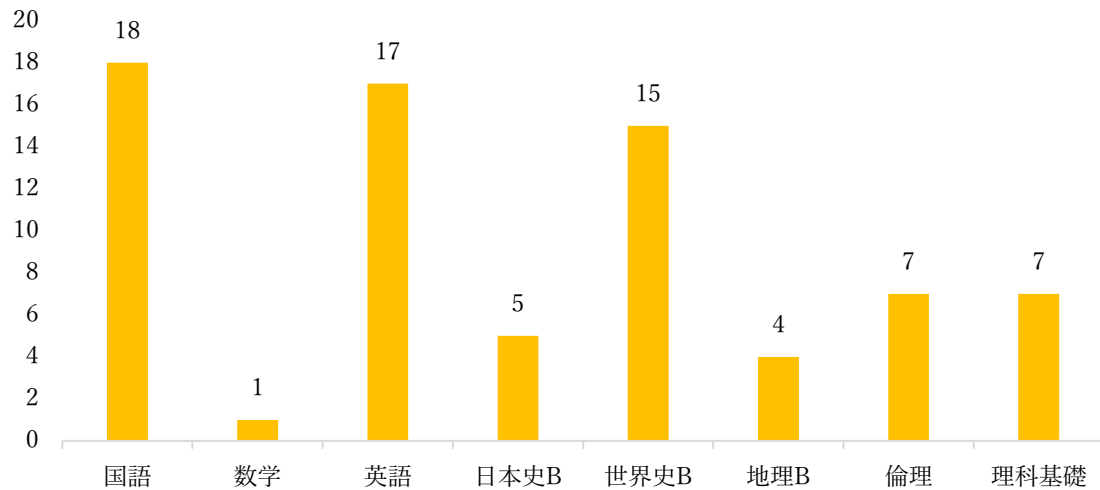
Q.3 いつから受験勉強を始めましたか？



■ 高2以前
 ■ 高3の4～6月
 ■ 高3の6～8月
 ■ 高3の8～10月
 ■ 高3の10～12月
 ■ 共通テスト以降

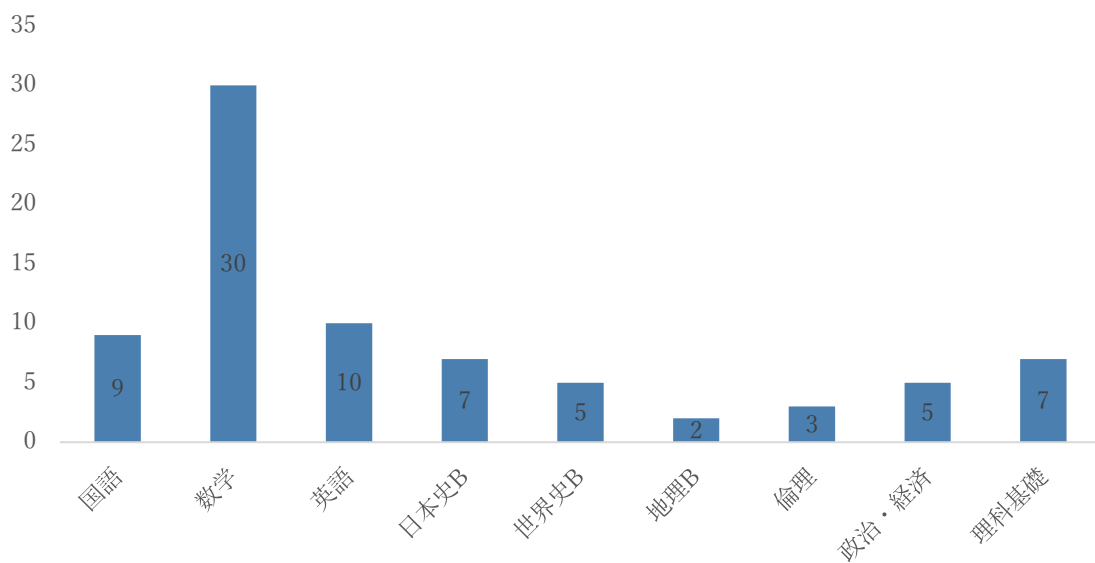
社会科目が得意な人が多いようですね。筑波大学の一般入試は社会の負担や配点が大
きいためでしょうか。次に国語、英語と続きます。THE・文系って感じですね！

Q.4 得意科目は何でしたか？（複数回答可）



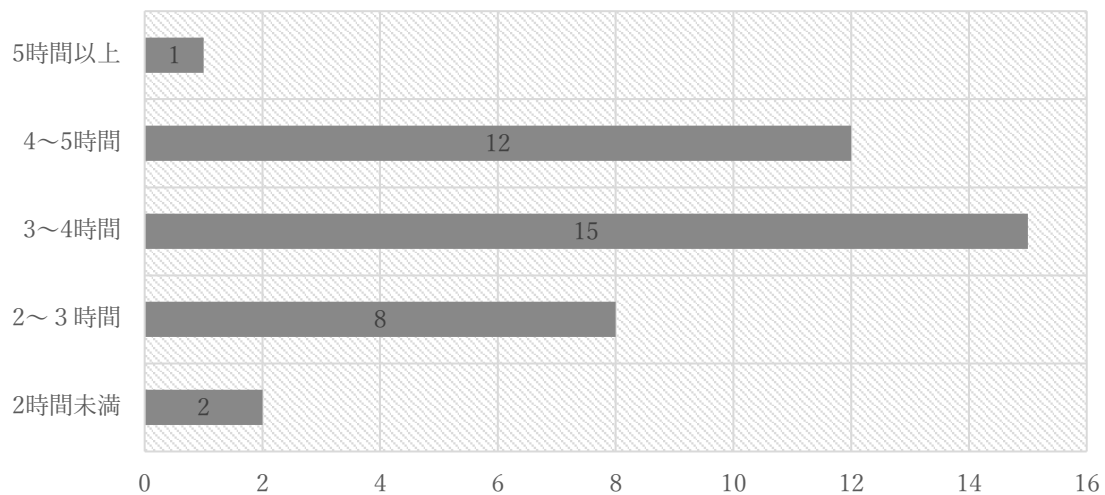
数学が圧倒的ですね。比文は他の大学・学類と比べてかなり数学の配点が低いので、
毎年数弱ばかり入学します…。個人的には英語や国語が苦手な人が多くて驚きました。
私は英弱なので、仲間がいてうれしいです！私はその分日本史をめちゃくちゃ極めまし
た。一般入試を考えていて文系3科目に苦手科目がある人は、他の科目をかなりの得点
源にしないと結構厳しいです。苦手を克服するか、得意を伸ばすかは作戦次第ですね。

Q.5 苦手教科は何でしたか？



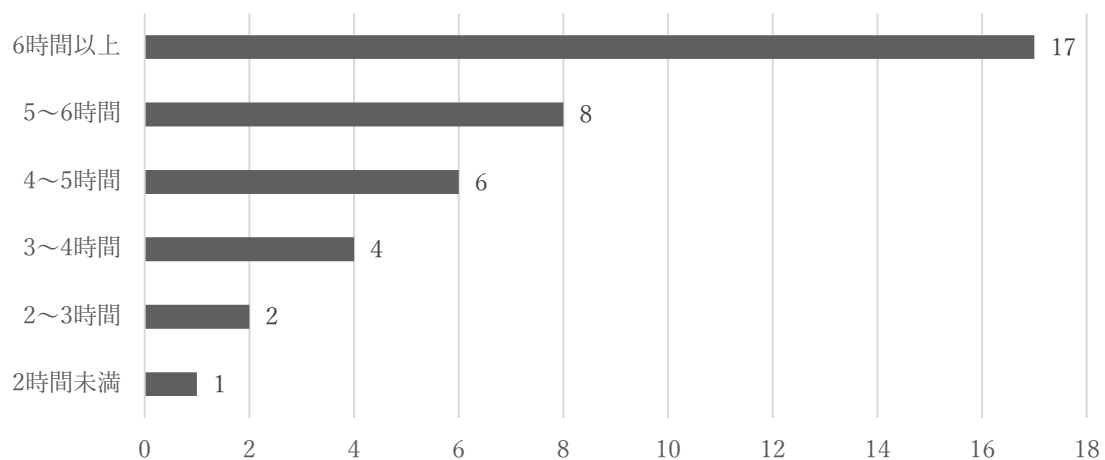
学校が夕方まであってそのあと勉強するとなると勉強できる時間は5時間くらいになりそうです。でも毎日無理せず集中して勉強できる時間は人によって異なるので、無理に5時間やるよりは確実に3時間集中して勉強するほうがいい人もいます。自分の集中力と根気にあわせた学習スタイルを確立して、継続させましょう！

Q.6 一日の勉強時間はどれくらいでしたか？（平日）



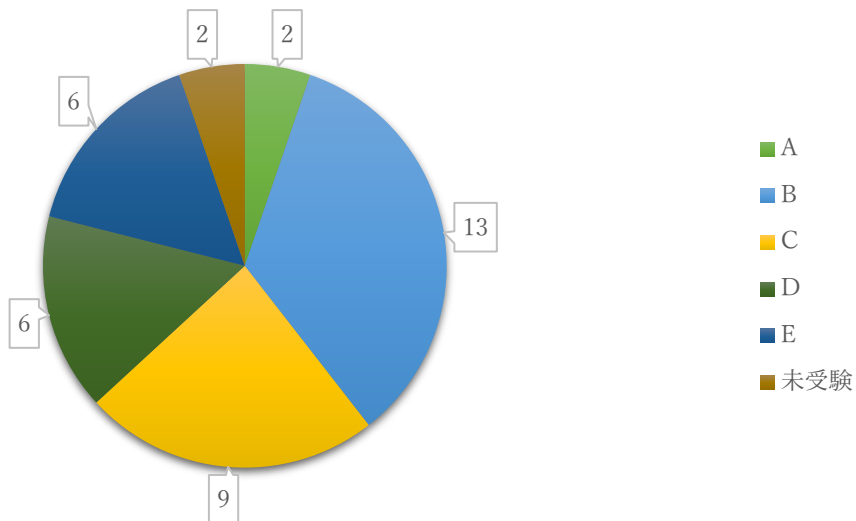
休日になると勉強時間がぐんと増えます。ちなみに私は10時間を目標に勉強して、8時間くらいになることが多かったです。受験勉強を始めた頃の頃はどんなに効率が悪くても10時間勉強して、10時間勉強することに慣れてから質を意識し始めました。平日は学校の疲れもあるので短時間集中、休日はとにかく長時間やる！って感じでしたね。

Q.7 一日の勉強時間はどれくらいでしたか？（休日）



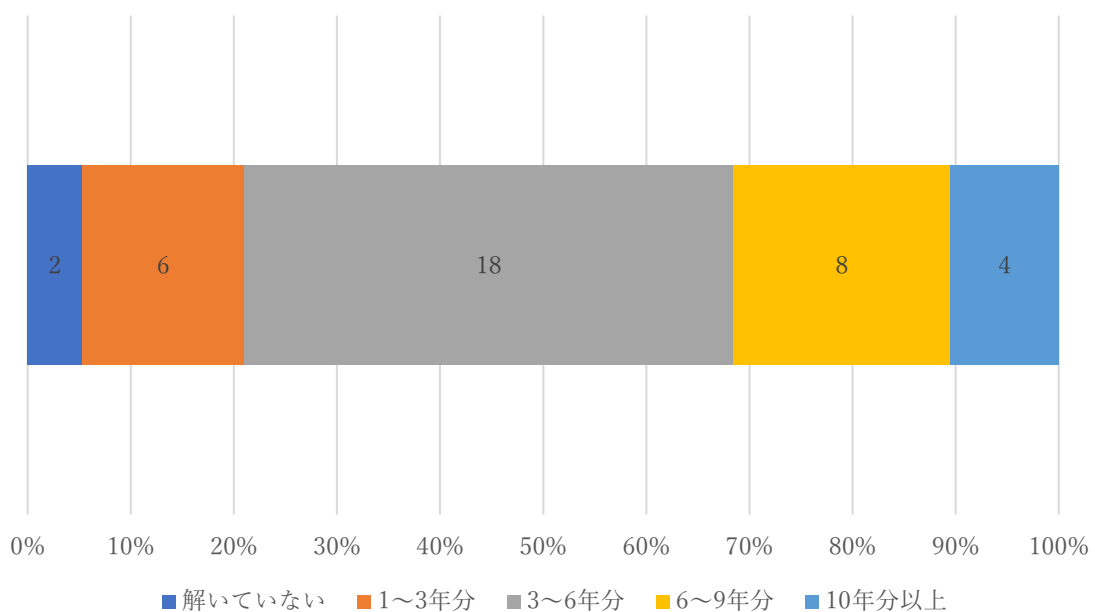
B判定の人が一番多かったですが、D判定、E判定からの逆転も結構あるみたいです。
今判定が悪くても、自分次第でまだまだ巻き返せますよ！

Q.8 夏から秋にかけての模試の判定は何でしたか？



3～6年が圧倒的に多かったです。過去問は復習が命。解いただけでは全く勉強になりません。むやみにたくさんやるより、完璧に復習しながら演習していきましょう。

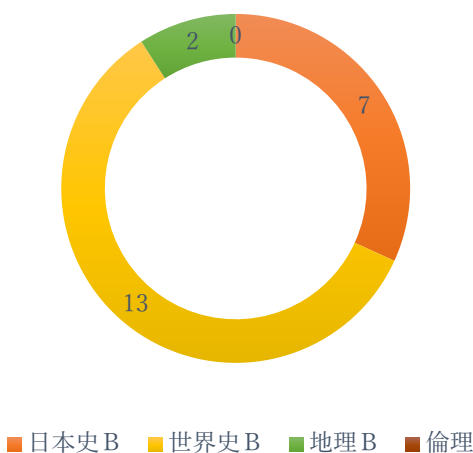
Q.9 何年分の過去問を解きましたか？



◀一般入試編▶ (有効回答数：22)

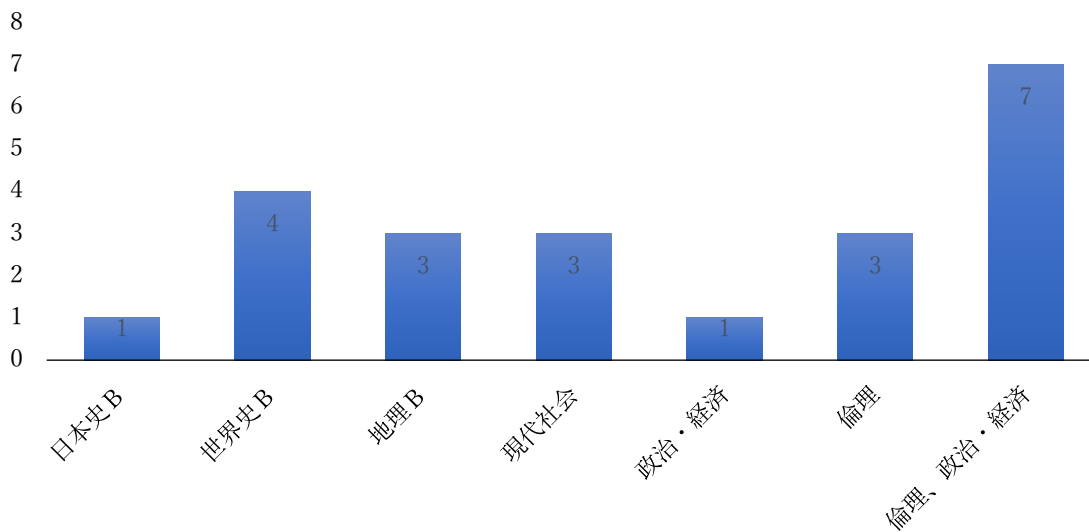
世界史が圧倒的に多いですね。毎年世界史と日本史が 2：1 くらいで地理、倫理が数人、といった印象です。

Q.10 二次試験で利用した社会科目は何でしたか？



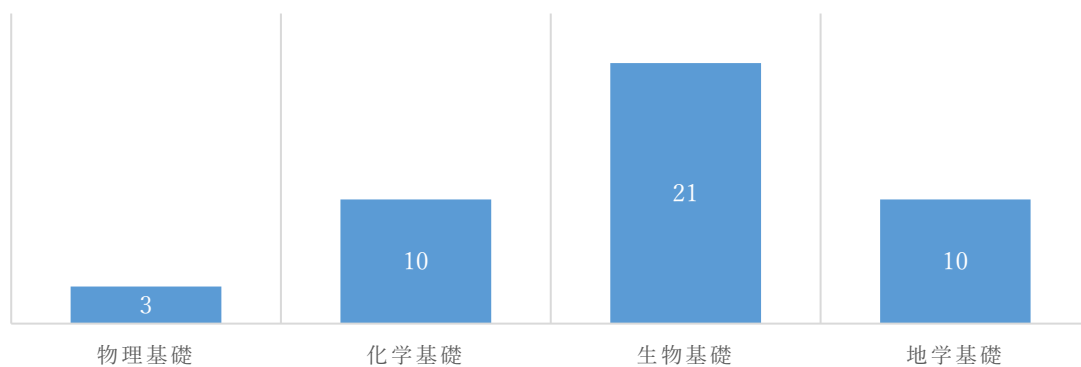
倫政の人が多いようです。倫政以外の公民を社会二科目目として認めない大学も多いためでしょうか。社会二科目目は共通テストでしか使わないので、できるかぎり負担を減らしたいものです。

Q.11 共通テストの社会二科目目として使用した教科は何でしたか？



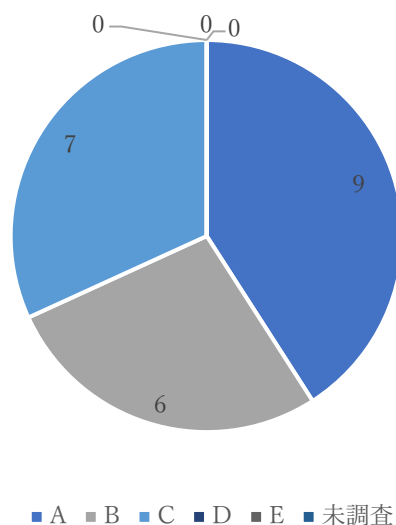
ほぼ全員が生物基礎を選んでいました。生物基礎はほぼ暗記で乗り越えられるので文系には人気ですよ。生物基礎+化学基礎か、生物基礎+地学基礎の人が多そうですね。比文の入試は数学と理科基礎の配点と同じなので、理科基礎は意外と重要な要素なのでは…？と個人的に思っています。

Q.12 共通テストの理科で使用した科目は何でしたか？（一人2つ回答）



D判定、E判定の人がいなくて驚きました。21年度入試は初の共通テストだったり筑波大学に総合学域が新設されて比文の定員が減ったりと変化があったためか、保守的な人が多かったようです。

Q.13 共通テストリサーチの判定は何でしたか？



私立は明治大学がかなり多いですね。私が集計していて受けた印象は早稲田、上智をチャレンジ受けて、MARCH とそれ以外を 2:1 くらいで併願する人が多い、ということですね。

国公立は都留文科大学が多かったです。ここは比較文化学科があるので比文の人は受けがちです。

全体としては文学部系が一番多く、ついで国際学部系、社会学部系という感じでした。比文は学問の幅が広いので、比文で何を勉強したいかによって併願する学部がひとりひとり異なるようです。

学部内訳

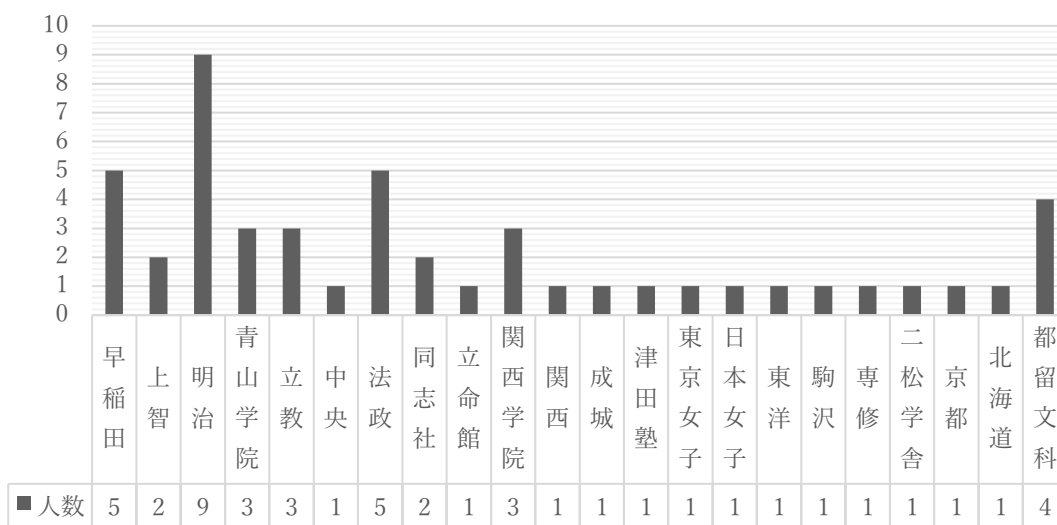
【私立】

- ・早稲田（文 2，教育 2，人間科学 1） ・上智（文 1，総合グローバル 1）
- ・明治（文 5，国際日本 2，情報コミュニケーション 2）
- ・青山学院（文 1，総合文化政策 1，不明 1） ・立教（文 1，社会 1，観光 1）
- ・中央（文 1）・法政（文 3，国際文化 1，社会 1）
- ・同志社（文化情報 1，不明 1） ・立命館（不明 1）
- ・関西学院（文 1，社会 1，不明 1） ・関西（社会 1）
- ・成城（文芸 1） ・津田塾（学芸 1） ・東京女子（心理・コミュニケーション 1）
- ・日本女子（不明 1） ・東洋（国際 1） ・駒澤（文 1） ・専修（不明 1）
- ・二松学舎（文 1）

【国公立】

- ・京都（文 1） ・北海道（文 1） ・都留文科（文 4）

Q.14 併願校はどこでしたか？



◀推薦入試編▶ (有効回答数 :14)

Q.15 ディスカッションのテーマは何でしたか？ (自由記述)

- ・環境保護について ・歴史解釈の変化について
- ・オンラインの浸透による影響について ・家族の形について
- ・学生の不正行為について ・個人の在り方と集団の同調圧力について
- ・AIと人間について ・多様性について ・第二外国語を大学で学ぶ意義とは？
- ・文系不要論について ・文系学部の廃止について

人によってさまざまでしたが、現代社会の実情がテーマになるようです。日ごろからニュースなどで見聞を深めた方がいいかもしれません。

Q.16 どのような対策をしましたか？ (自由記述)

1位：入試に面接やディスカッションがある子と一緒に練習

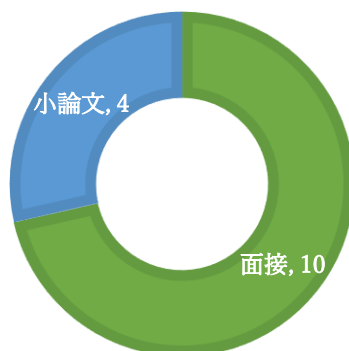
2位：過去問を解いて先生に添削していただく

その他⇒新聞を読む、など

面接と小論文をまんべんなく対策する、というよりはどちらかに比重をおいて完璧に仕上げる人がほとんどでした。

面接のほうが得意な人が多いようです。比文生は文章を書くのが好きな人が多い印象だったので意外でした。比文生はおしゃべりなのか…！？

Q.17 面接と小論文どちらが得意でしたか？



体験談（一般入試）

✓ 受験勉強を始めた時期

筑波大学を志望してたのは高1の終わりくらいからです。茨城が地元なので、高校で比文の模擬講義を受けたのがきっかけでした。（もしかしてこれで出身校バレるかも）ちゃんと始めたのは3年になってからでした。夏まで部活を続ける気でいたので…

大会がなくなったのも引きずってたので、切り替えの意味も込めて7月に塾に入って英語だけ授業を取ってました。

✓ 過去問を始めた時期

・共通テスト

学校の演習が始まったタイミング

・二次試験

英語 夏休み（英作文は共通後に添削を始めた。遅い）

国語 冬休みくらい 本格的にやったのは共通の後

社会 日本史で受けました 冬休み前くらいから添削してもらってた

✓ 苦手科目について

数学がものすごく苦手でした。校内模試で点数1桁を叩き出したこともあります。半分以上点数取れたら奇跡でした。高3の時は数学に関しては共通レベルの問題しかやらなかったです。どうせ二次で使わないので共通テストで点数落とさなければいいんです。

英語も苦手でした。読むスピードだけはあったので共通はあまり苦労しなかったのですが二次が…幸運なことに塾に入れたのでそこで対策を取ったのと、学校で英作文の添削をやってもらいました。

ぶっちゃけると二次試験は得点率よくなかったのですが、共通テストに救われる形になったと思います。（共通はかなり取れました）一般入試を利用する人は二次も大切ですが、共通テストも大事にすることをお勧めします。私立の滑り止めを考えている人がいれば、共通利用が使えることは利点になるのでは（特に地方民！私大受験のために泊まりがけで出かけるのはなかなか負担だと思う。）

✓ 二次試験についての後悔～ホテル～

ここでこれを書いても…とも思いますが、私みたいな受験生になってほしくないので載せます。

二次試験の際、ホテルで前泊する方は一定数いると思います。その際、ホテルの部屋は早めにとっておくこと、かつ禁煙を選ぶことも大事です。ホテル予約の波に乗り遅れた結果、禁煙じゃない部屋に泊まりました…正直匂いやばかった。気持ち悪くなって真夜中に飛び起きて、その後気持ち悪くて寝れなくなりました…寝不足の状態です試験に臨んだのもあり日本史受けてる途中で意識が一瞬飛びました。

割とどこでも寝れると思ってる人でも、緊張していると何が起るかわからないので(私がそうです)環境大事です。

✓ 受験勉強について

私はE判定からのスタートでした。

国公立大への進学を目指す生徒が大半の高校に通っていたので、周りに流される感じで勉強してました。特にルーティンとかもないです。本当にダメな受験生だった(遠い目)ですが、参考になることがあるとしたら、学校を利用し続けたことです

家で勉強できない系受験生だったので二次試験前は学校に通い続けてました。私大の記述試験を結局受けてないので多分自由登校期間中の登校率は学年トップだったと思う。家で集中できないって時は外で勉強すると気分転換にもなると思います。

あと継続的に添削をしてもらうことかな。添削してもらった原稿が溜まってくとこれだけやった!見てもらった!という自信にも繋がると思う。

✓ メンタルについて

目に見えて落ち込むことはなかったけど無意識に緊張してるタイプでした。

周りの環境についても、推薦の進学や、私大志望の人もレアでした。(卒業式時点で進路が決まってる人はほとんどいなかった)周りは遊んでるのに自分だけ勉強しなきゃいけないみたいな状況ではなかった。むしろ周りがみんな勉強してるからそれでモチベーション保ってました。ある意味で恵まれた環境にいたと思う。以下私のメンタル対策

・人に会うこと

誰かに聞いてもらうことは大事。聞いてもらうだけでだいぶ楽になると思う。

人によってこれは差があると思うけど、私は誰かに話しかけてもらうのが苦にならなかった受験生でした。なので、親以外の人と話せることがむしろ嬉しかった。ありがとう話しかけてくれた先生。特に担任と学年主任。

受験に関係ない話(ex:恵方巻を食べるか否か)なども先生としてたのが気分転換になった家族以外に不安を話せる人がいると安心(私の場合それは担任)

・自分を物欲で釣る

単純な人間なので…

具体的には受験が終わったらこれを聴くっていう音楽をダウンロードしました。試験が終

わった時に、過ぎたことをクヨクヨすることなく次の科目に意識を向けるきっかけにしました。

・気分転換の方法を見つける

個人的におすすめなのが音楽を聴くこと。区切りがつけやすい推しの歌でモチベ上げてた。

✓ 最後に

一般入試は受験生活が長いです。勉強を続けることが1番きついかもしれない。

不安は尽きないと思いますが、そんな時は前日に全く眠れずほぼ徹夜みたいな状況で二次試験を迎えた受験生がいたことを思い出してください。

入試体験談(一般入試編)

皆さんこんにちは。これを読んでいるということは、あなたは筑波大学の受験を検討されているのでしょうか。受験生の生活には不安がつきものです。自分がやっていることが正しいのかわからなくなったり、つい周囲の人と自分を比べてしまったりということもあるかと思えます。そこで、大学に合格した者の一人としてその体験をお話することで、少しでも皆さんのお力になれたらと思います。…というわけで、まずは私の入試形態から！私は共通テスト＋二次試験(前期)を受験し、二次試験では国語・英語・世界史を選択しました。ここからは、志望動機・受験生時代のスケジュール(長期休み中)・共通テスト・二次試験についてそれぞれお話していきます。

志望動機

私が筑波大学という存在を知ったきっかけは、友人が筑波大学を志望していたことでした。当時高校二年生の二学期？くらいだった私は大学についての知識が皆無でしたが、異文化に興味があったので比較文化を学びたいと考えていました。調べてみると、比較文化のコース選択が驚くほど充実しており、一気に興味を惹かれました。また自分に都会は合わないだろうと感じていたので(重度の方向音痴&動きが遅い)、学力が当時の自分より少し高く、地価が安く(これも大事)、地元から遠すぎない筑波大学を視野に入れるようになりました。

受験生時代のスケジュール(長期休み中のある日の一日)

- | | |
|-------------|---|
| 6:00 | 起床 |
| 6:30 | 朝食、身支度 |
| 7:30-8:15 | 英単語/英文法(起きたばかりは頭が回らないので暗記系を) |
| 8:30 | 近所の図書館へ |
| 9:00-13:15 | 勉強 |
| 13:30-14:00 | 昼食(ここに時間をかけすぎない) |
| 14:00-20:00 | 塾の自習室で勉強(週に一回近所の個人塾に通っていました。3年生になると大手の塾の夏期講習や冬期講習にも通いました) |
| 20:30 | 帰宅、夕食(基本は家でとっていましたが、追い込みの時期は塾でとっていました。塾は第二の家ですね。) |
| 21:30-22:00 | 息抜き。スマホを触る。使いすぎ注意です。 |
| 22:00-23:00 | 勉強 |
| 23:00-24:00 | お風呂 |
| 24:00-24:15 | 世界史(寝る前 15分は世界史を勉強して、教材と一緒に寝ていました。教 |

科書と参考書は親友なので。)

24:15 就寝(直前に勉強したもののこと考えてれば即眠れます。)

・一日10時間勉強することを目標にしていました。結果としては8~10時間半くらいでしょうか。スケジュールを見るとめっちゃめっちゃ勉強しているように見えますが、実際はちょこちょこ息抜きしたりうたた寝したり(笑)しているので、実質勉強時間はもっと少ないです。あと、10時間勉強のコツは早起きにあると思っています。夜更かしは禁物です!

・勉強できる場所が近くに複数ある場合は、午前と午後で場所を変えてみるのをおすすめします。気分がリフレッシュしますよ。

・勉強は計画的に!長期休みの時は、まずその休み中に達成したい課題を決めます。次に週の初めに一週間で達成したい課題を決めます。そして一日の初めにその日のスケジュールを決めます。ポイントは、スケジュール通りに進むと思わないことです。世の中そんなに上手くいきません。予備日を設けるなどして、余裕を持ったスケジュールを立てるようにしてください。

・私はモチベーション維持のために勉強記録アプリを使用していました。友達や同じ志望大学の人の勉強時間が見られる機能があったため危機感が生まれ、また自分の努力が目に見える形で残ったので自信に繋がりました。アプリを入れなくても、自分の勉強時間を記録しておくといいと思います。

共通テスト

私は大まかにいうと「夏まではまんべんなく、秋ごろから二次試験科目・得意科目」というスタイルで勉強していました。私は圧倒的数学弱者だったのですが、本番では得意科目に救われたので得意は伸ばした方がいいです。モチベーションも上がりますし。ただ、過去問は早いうちに一回やっという方がいいです!入試で求められる力を実感することで、自分がどんな勉強をすべきかが見えてきます。勉強方法でいうと、私は教科ごとに「オリジナル苦手ノート」を作り、試験前に見返していました。何度も間違える部分を目立たせておくと復習しやすいです。加えて模試の後には、反省と次回までにやるべきことをメモしていました。後は最後まで諦めないことです。私は本番直前に確認した古典単語が出題されて、心の中でガッツポーズをしていました(笑)

二次試験

スペースがないので手短かに。世界史論述と英作文は早めに対処することをお勧めします。世界史やばいですよね。初めて問題見たときは頭が真っ白になりました…でも真面目に勉強すれば意外といけます。どの教科も、とにかく慣れることが大切です。過去問と親友になりましょう。私は二冊分を二回通りくらいやりました。あとは大まかな時間配分を決めておくと慌てずに済みます。こんな感じですかね(雑)。皆さんの健闘を祈っています。

推薦入試受験記



皆さんこんにちは！この度は2021年度比較文化学類のオンラインオープンキャンパスに参加いただき、ありがとうございます。

早速ですが、受験生時代の生活を紹介していきたいと思います！在籍していたのは茨城の高校で、隣県の千葉から電車通学で通っていました。筑波大学に毎年10名以上の合格者を輩出している高校だったため、筑波大学を志望している人も多く、私自身についても、推薦入試で挑戦してみようと決意したのが高2の秋くらいでした。(早いほうですね)

高3の5月頃に行われる校内選考を突破した後から、早くも志望理由書(雛形)を書き始めます。入学する前からコースも決めて、その分野に詳しい先生にお願いして添削をお願いしていました。(結局何が研究したいのと問われる毎日…)一般入試のための勉強もしつつ、これが10月まで続き、完成させます。11月からはグループディスカッション形式の面接(以下GDと呼ぶ)と小論文の対策が本格的になってきます。同じ入試形式の人を集め、放課後にひたすら面接練習を行っていました。GDのテーマは過去に出題されたものや、時事問題を踏まえて先生方が考えてくれたものなど様々。小論文のほうは、高校が所持する歴代の問題たちを週に一つ、添削を二回くらいしてもらってペースで対策をしていました。私はニュースで報道されていることなどに対し、常に自分の意見を持てるように生活することを意識していましたね。(これはGDと小論文の両方に役に立つので是非とも試してみてください！)

受験記についてはこれくらいにしておきます。次のページに当時(推薦入試の対策繁忙期)の一日のスケジュールを共有しておきます。

	一日のスケジュール（高3平日5月～11月）
5時20分	起床, 朝の支度
5時55分～7時30分	通学, 学校着
～8時40分	朝自習（1時間くらい）
8時40分～12時00分	HR, 午前授業
～12時40分	昼休み
12時40分～15時55分	午後の授業, HR
～16時15分	掃除, 休憩
～18時30分	放課後課外授業（希望制）
18時40～20時10分	帰宅
～20時40分	夜ご飯, シャワー
～21時00分	テレビニュースを見る
～22時30分	小論文過去問演習など
22時40分～	就寝

ざっくりこんな感じになっております。主にマーカーが入っている時間帯に推薦の対策をしておりました。40分間の電車だったため、英語小論文の対策として英検準一級の単語帳をひたすら見続けていました。隙間時間の活用は大事！！一般入試とも掛け持ちもあって、大変だとは思いますが、合格発表日は12月のはじめ！合格できれば4月までは自由の身となることをモチベにして、頑張ってみることに価値はありますよ！

最後になりましたが、この記事が比較文化学類への入学を考えている皆さんのお役に少しでも立てていれば幸いです。来年お会い出来ることを楽しみに待っています！😊

受験体験記（推薦入試編）

皆さん、こんにちは。推薦入試当日昼食中に顎が外れ、午後からの小論文は顎を押さえながら執筆した比較文化学類 2 年生です。この記事では私が入試で顎を外すまでの話をお伝えしようと思います。

○志望に至るまで

私が比較文化学類の推薦入試を受験することを決めたのは高校 3 年生の春～夏でした。筑波大学の存在自体は昔から知っており、気になる大学の一つではあったのですが、親が地元から離れた地域の大学を受験することに難色を示しており、親を説得できた頃にはもう 3 年生になっていました。私は当初から推薦入試と一般入試の両方を受けるつもりでいて、推薦入試は「受かったらラッキー」のスタンスでいました。

○外部資格

出願に必須ではありませんが加点対象になる外部資格がありました。私は推薦入試の受験を決意してから慌てて英検準 1 級を取りに行きました。

○志望理由書

私が推薦入試で一番苦労したのは志望理由書でした。9 月の半ば頃から書き始めたのですが、全然うまくまとまらず、願書提出の前夜まで何度も書き直しました。学類のパンフレットや HP に載っている言葉をコピー&ペーストするのではなく、何を学びたいのか、それを学ぶことにどのような意義を見出すのか、学んだことをどのように生かしたいのかを書けるように試行錯誤しました。添削は予備校の先生にお願いしていました（あまりの駄文に先生が呆れかえっていたのを覚えています。トラウマです）。

○小論文

小論文対策の前哨戦(?)として高校 3 年生の夏頃から毎朝新聞を読むようにしていました。特に社説にはじっくり目を通し、気になった部分はメモを取ったり自分の言葉で言い換えてみたりしました。新聞購読がどれほど小論文の出来に影響を与えたかは定かではありませんが、確実に社会や政治に関する知識・好奇心・問題意識は高まりましたし、それが大学での学びの基盤になっているとは感じます。

本格的な小論文対策を始めたのは夏休み明けからでした。その頃は 1 カ月に約 3 本、入試の 1 週間前からは毎日 3 本程度小論文を書いていました。比較文化学類の過去問だけでなく、高校にあった赤本の中から適当に選んだ問題にもチャレンジしていました。書いた小

論文は高校の先生に見てもらったこともありましたが、添削をしてもらったのは数回程度だったのでほとんど独学と言っていいかもしれません。当時はとにかく数をこなして文を書くことに慣れようとしていました。

○面接

私が受けた推薦入試の面接はグループ面接で、志望理由の説明とそれに関する質疑応答、受験者同士のディスカッションがありました。

面接官とのやりとりが必要な部分は、入試の1週間前に担任の先生を相手に数回練習しました。担任の先生には志望理由に関する質問を投げかけてもらうようお願いしました。

一方、ディスカッションの練習は一切しませんでした。相手の意見を否定しない、純粋にいろいろな人の意見を聞く場として楽しむことをモットーに頑張ろうとは思っていました。

○つくばでの過ごし方

私は関西出身なので、受験の前日につくばに来てつくば駅周辺のホテルに母親と泊りました。費用節約のためダブルベッドの部屋を予約したのですが、私は何せ他人と同じベッドで寝ることができない（他人の振動や寝息が気になって眠れない）タイプなので、母親には寝袋と布団を渡して床の上に横になっていただきました（お母さんごめんなさい）。

朝食と昼食はコンビニで買い、夕食は母親がレストランに連れて行ってくれました（そんな母親を床で寝かせたのは私です）。入試当日にその日の昼食を買おうとするとコンビニが品切れになっている可能性もあるので、前日に買いそろえておくといいと思います。

入試の日の朝はつくば駅から臨時バスがたくさん出ます。それでも受験者でいっぱいになり、私が会場入りできたのは集合時刻の5分前でした。それでも集合時刻の1時間半前にはバス停に並んでいたのも、だいぶ余裕を見たほうがよさそうですね。

以上で私の受験体験記は終了です。

見ての通り、私は何か特別なことをしたわけでも、類稀な才能に恵まれていたわけでもありません。ですが何か一つ武器になるものが備わっているとすれば、それは「"normal"からの逸脱を肯定する勇気」ではないかと思います。推薦入試の時期になると周りみんな共通テストや二次試験の勉強に精を出しています。その中で自分は一人小論文を書いたり面接練習をしていたりするとどうしても焦りが生じてしまいますよね。ですがそんな時こそ「みんなと違うことをやっている自分は特別じゃないか！」と思うことが大切です。推薦入試対策のために勉強に遅れが生じることはあっても、メンタルの面で他の受験生に引けを取ってはいけませんからね。自分自身の歩みを認めて肯定してあげましょう。

それでは、皆さんに暖かい春が訪れますよう、心よりお祈り申し上げます。ご一読ありがとうございました！

受験体験記（推薦入試編）

受験生。その単語を聞くだけで、さまざまな感情が胸をよぎる。受験生とは、「勉強して大学を受験する」時期にある者のこと。簡単に言い表すことができるけれど、あなたたちはこの時期を通して多くのことを学ぶだろう。だが、結果は合格か不合格の二択。過程は複雑で、結果は残酷なまでにシンプルなのが受験だ。

なーんて固いこと言ってみた KEDO★、そこを利用しちゃえばいいのよ。言い換えれば、受験期にテレビや漫画でグータラしていても合格通知が来ちゃえばパーリナイッ！私が言いたいのは、それでも受かるということではなくて、推薦でも一般でも受かることに意味がある、ということ。世の中には、推薦は邪道、と考えている人がいる。もしかしたら、あなたの身近な人にもいるかも。でも、そんなことは気にしなくて良い。その大学に入りたい、が目的でしょう。どの受験スタイルを取るかはあなたの自由です！

私は推薦入試で筑波大学に合格した。予備校に通っていて、そこでチューターさんに言われたのは「推薦で受かったらラッキー」というメンタルで行きなさい、ということ。よく考えたら判定は Equanimity の E（最新の検索履歴：e から始まる英単語 難しい）だったから何故そのメンタルで受験できた？と過去の自分に問いたい。しかし、この気持ちで受験することは極めて重要だ。本番で無駄に焦ったり、力んだりしなくて済む（*当時彼女は Equanimity）。知らない会場、頭良さそうな受験生、2回読んでも全く理解できない英文。初めはパニックになりかけたが、そこで予備校での経験が活きた。そこにも自分より頭がいい同世代がうじゃうじゃいたからだ。よって、受験期に模試を受けたり予備校に通ったりしてストレス耐性をつけておくと大吉。自分の丁度いいトイレ休憩や水分補給のタイミングなど、試験場での身の振る舞い方を知っておこう。あと二つほど受験エピソードを語らせていただく。私は、新聞スクラップノートを作っていた。予備校の帰りの電車や朝の HR 前の教室で日経新聞を読んでいるのは正直恥ずかしかったが、その度に心の中で（合格するため。やるべきことをやる。）と言い聞かせていた。スクラップをやらなかった合格者もいると思うが、私はやってよかったと思う。面白いので、勉強の息抜きにもなる。最後は、面接について。比較文化の面接では志望動機を聞かれることはほぼ確定している。私は志望動機を、自分の納得のいくものができるまで考え続けた。自分の気持ちを込めた、説得力のある動機。しかし考えすぎて二日目の試験日を迎え、席についても完璧には纏まってはいなかったなので、その場で詰めて暗記した。危なかった ZE★ 面接官の先生たちは目が肥えていらっしやるので、合格するために自分を偽ったらすぐ見抜かれてしまう。自己アピールしすぎないで、自分の納得いく志望動機を言いましょ。

そんなこんなで受かった人もいます。THIS IS ME！ストレスは少ない方がいい。泣きたい時もあるけど、案外世界はシンプル！ラブ&ピースだよ♡

私の平日のルーティーン (←嘘。頑張ったときの)

5 : 3 0	起床
6 : 1 2 ~ 6 : 4 5	電車の中で暗記系
7 : 1 5 ~ 8 : 3 5	学校で小論文・新聞・暗記系
↓	授業
1 6 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	塾の予習
1 9 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0	授業
2 1 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0	塾の復習・英単語
2 3 : 0 0	就寝

とにかく家では全く勉強できなかったため、学校に一番乗りして勉強していた。一見真面目に見えるが、気分が乗らなかつたら朝はランニングしたり、昼は友達と喋ったりと案外自由な時間は多かった。

私の休日のルーティーン (←お分かりいただけるよね?)

6 : 0 0	起床
6 : 5 8 ~ 7 : 2 3	電車の中で暗記系
7 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0	塾で自習
↓	授業 (夏期講習とか)
1 6 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0	公共施設で塾の予習・復習
2 2 : 0 0	もう寝るンゴ。

通っていた予備校の自習室は7 : 3 0から開く。自分のお気に入りの席に座るには、早

めに乗り込むことが大事。しかしすでに入り口には行列ができています。先生に小論文を添削していただいたり、直接質問できたりもする。タイミングが合わないと、一日誰とも喋らず終わる。お昼はぼっちココイチ。授業中寝ちゃうのでブラックコーヒーは必須！おやつは素焼きアーモンドとか、カリカリ梅をよく食べていたぜ。以上が私の受験体験記だ。あなたにはあなただけの受験物語がある。苦しくても楽しむことを忘れないでね。

AC 入試のすゝめ

比較文化学類アドミッションセンター入試。他大学の友人や大人に説明するには「文学部の AO 入試みたいな感じ」といわなければ説明ができないとてももどかしい入試ですが、その他の点は総じて素晴らしいものです。今日はぜひその魅力と、対策などについてお伝えできたらとおもいます。

この文章の筆者が考える AC 入試の魅力、それは、**自分を最大限にアピールできる！！**ということなのです。

AC 入試の提出必須物は、①自己推薦書・添付資料（形式・枚数自由）②志願理由書（800 字）③調査書（評定基準は無い） 大体これだけです。波線部や、ペーパーテストが無いことを見ていただければわかるように、評定や資格等に関わらず（ある程度の成績は大学で学ぶ上で必要となりますが）、これまでの自分の活動を際限なく出し尽くし、大学教授にこれでもかとアピールできる大チャンスなのです！

以下からは筆者の受験体験記を交えつつ AC 入試対策の一助としていただけたら幸いです。

・志望動機

書いてしまうと長くなるので割愛！（主観ですが AC 合格者に自分の研究のことを語らせると永遠に続きます）筑波大学アドミッションセンターのHP
<<https://ac.tsukuba.ac.jp>>には合格者の「合格までと合格後の活動」を著したレポート（ちなみに筆者は比文の3番目くらいに載っています）が掲載されているのでぜひ読んでみてください。レベルの高さに驚愕。ほかの学類に比べて比文は自己推薦内容の分野の幅がかなり広いですね。ここに比文の学際性が現れているなあという気がします。

・対策

一般や推薦と異なり、「これをやれば安心！」という対策がないのがこの入試。筆者は現役時代、インターネットや受験参考書のどこにも AC の対策が載っておらず苦しみました。1つ言えるのは、「**自分の活動をきわめる**」ことです。相手は大学教授ですので、手抜きや付け合わせの知識は見破られます。**自分の得意分野だけで勝負できる入試です。これだけは誰にも負けないという強い情熱が一番大事だと思います。**筆者の AC に関連する受験生時代のスケジュールを次のページに載せるので参考にしてみてください。

○筆者の AC 入試受験

高2 7月	研究の着想, アウトライン作成。
8月	活動開始。
3月	筑波大 AC 入試を知る。第一志望に。
高3 6月	活動が大体終了。論文の執筆を開始。 部活動引退。
7月	一般入試(比文)を徐々に意識し始める。
8月初旬	論文完成。志願理由書を書く。
8月中～下旬	自己推薦書執筆。1～2週間くらい。
9月	出願。一般入試の本格的な対策に移る。
10月初旬	一次合格発表。まさか通ると思わなかった ので慌てて面接練習を始める(3回程度)。
10月中旬	第二次選考。つくばへ。
11月	合格発表。

あくまでも一例です。高2の7月からとはいっても実質それ以前のいろいろな経験が研究の着想に至っていることもありますし、特にこの表を見て何ということはないです。自分に自信をもってやれば大丈夫です。筆者はACに失敗しても一般で比文に入ってやろうと思っていたので並行して一般入試の対策もしていました。

・受験(二次)当日

とても緊張しました。面接官5人に受験生1人。コロナ対策のためのマスクや透明シートもあったので少し話しづらいところもありました。初めは緊張をほぐすような会話(?)を少ししていただけます。

内容については「あなたの長所は?」のような一般的な質問は一切なく、30分間ひたすら自分の研究や提出した書類の内容について聞かれます。厳しい質問もあります。正直に言うと筆者は心がポロポロになりました(他の学類の方にもお話を聞いたら他にそういう人もいないわけではないみたい)。そういう入試なのです。腹をくくるしかありません。

具体的なアドバイスができなくて申し訳ないのですが、とにかく一番は自分の行ってきた活動に自信をもって臨む、これに限ります。

合格すると11月にはその活動を継続したり、大学に向けて自分で学びを始めたりできるんですよ?! これほど魅力的な入試はありません。入学後もAC合格者を見つけると学類問わず仲良くなれてしまうなど楽しいこともあるものです。応援しています。

合格に至るまで(AC 入試)

はじめに

これを読んでいるということは AC 入試を検討されているということでしょうか。AC 入試、いざ準備を始めよう！と思っても、何から始めたらいいかわからないし、不安になりますよね…。過去問もなければ、入試問題もない、正しい答えだってないのですから。しかし、裏を返せば、あなたの好きなように解答できる、あなたの経験や考えが答えになりうる入試だと捉えることができます。これまでの自分に自信と誇りを持って、未来の自分に希望を抱いて、あなたらしい AC 入試を創り上げてほしいです。そこで、AC 入試に合格した者の一人として、少しでも皆さんの力になれたらと思っています。よって、私の受験生時代の生活、実際の入試準備や本番ではどういうことをしたかをお話ししていこうと思います。

志望動機

私が筑波大学を志望したのは、高校 3 年生の 7 月頃です。AC 入試の出願登録が 8 月には始まるという中、実はかなりギリギリまで他の大学と迷っていました。というのも、どちらの大学でも私が学びたいことを学ぶことができたからです。ではどのようにして筑波大学を選んだのか。私は各大学が公表しているアドミッションポリシー（大学が求める人物像）と選考方法の 2 つの項目に着目しました。最終的にどちらにおいても筑波大学の方が自分に合っていると判断し、筑波大学の受験を決めました。AC 入試の選考方法は枚数自由・様式自由の自己推薦書の提出と面接です。

一次審査（書類審査＝自己推薦書）

一次審査の自己推薦書は約 1 ヶ月で完成させました。というのも、受験を決めたのが高 3 の 7 月とかなりギリギリだったため、この 1 ヶ月間はかなり大変でした。受験にフライングなんて存在しませんからやはり準備は早いうちに始めておいた方がいいですね…。内容は小学校から高校 3 年生までの諸活動、大学入学後の研究についてなど、全部で 68 枚書きました。もうとにかく「量×質」で熱意を伝えようと思い、これまでの自分の活動について書けることは全て書きました。私が特に意識して書いたことは、「これまでの経験をしてきた中での自分の感情の変化」と「研究に対しての考え」です。きっと大学側は、経験の量や内容よりも、それらを通して私がどういう感情を抱いたのか、どんなことを疑問に思いましたか、追求したいと思ったか、入学後の研究にどう繋がるのかを知りたいだろうと思ったからです。以下に自己推薦書を作成していた時期（8 月いっぱい）のスケジュールを書こうと思ったのですが、問題を解きまくったり暗記したりという入試準備ではなく、日によってかなり変化はありましたので、ざっくりと文章で書くことにします^^; 自己推薦書を書くにあたってまず初めにしたことは、次の 3 つを箇条書きでメモしていきました。①「これまでの

経験の中で大学に伝えたいことは何か」②「これから大学に入ってどういうことを追求していきたいのか」③「これまでの経験が大学で追求していきたいことにどう生かされるのか」やっぱり最初から文章で書くことは難しいので簡単なメモから始めてみるといいと思います。ある程度書く内容を決めたらそれらに肉付けをしていきます。しっかりとした文章に書き直していったり、情報を付け加えたり、データや写真、証拠としての新聞記事を添付したり…。とにかくずーっとパソコンに向かっていました（笑）その他には、小学校の時の先生に連絡して当時行っていた研究活動のデータをもらいにいったり、図書館に行って小学校～高校（約10年間分）までの自分が載っている新聞記事を何時間もかけて探してコピーしたり、これまでの研究活動に協力してくれた大人にもう一度インタビューしにいったりという生活をしていました。高校の先生はもちろん小学校や中学校時代の私のことなど知らないで、自己推薦書の内容について指導してもらおうというよりは、自己推薦書の文章に誤字脱字がないか、矛盾点がないか、冗長的になっていないかなどのチェックをしてもらいました。最後は願掛けとして自分の誕生日（ちょうど受付期間が誕生日だったので）に自己推薦書が筑波大学に届くように送りました（笑）

二時審査（面接）

無事一次審査を通過し、10月に二次審査の面接がありました。一次審査の結果発表から面接本番まで2週間くらいしかなかったのでその2週間は毎日日替わりで5名くらいの先生と面接練習をしました。本番では面接官5人対受験生1人、正直にいうと内容的にも圧迫面接に近かったように感じました（笑）「私の興味のある学問のプロと話せる！嬉しい！」とワクワクルンルンで面接室に入ったら3人だと思っていた面接官が5人もいたし、面接はフレンドリーに話してくれるよと先輩から聞いていたのに「この研究筑波大学じゃなくてもできるよね？地元の大学でもいいんじゃない？」みたいな質問を3人くらいの面接官にされたので、心は泣いていましたがそれを悟られないようにどんな質問をされても動じず笑顔で答えるよう意識しました（もはや表情は演技）。

また、面接では「大学に対しての熱意」と「研究に対しての熱意」を伝えることを意識しました。実際の質問では自己推薦書の内容を踏まえた上でその2つについて深く聞いてきたので、自分が大学に入って何をしたいのか、なぜそれが筑波大学でないといけないのかを自分でしっかり理解しておくことが大切だと思います。また、自分の書いた自己推薦書の内容に誇りを持ち、受け答えでの矛盾が生じないようにしましょう。それがとても大事なことですし、それさえできれば大抵の質問には答えられると思います。「私が筑波大学を受験してやってるんだ！通せ！」くらいの気持ちで挑みましょう！でも正直いうと、私は最後の最後まで自分に完全な自信を持つことはできませんでした（笑）受験期ってどう頑張っても不安が勝っちゃいますよね～(>_<)でも、自信が持てなくても自分を誇りに思い、自分を信じることだけは忘れないでください。あの時頑張って良かったなと思える日が必ず来ます。頑張れ！あなたなら大丈夫！

おわりに

最後までお読みいただきありがとうございます。このパンフレットは2021年度比較文化学類オープンキャンパス委員会により作成されました。比較文化学類1、2年生の生の声がたくさん反映されています。受験勉強の息抜きとして気が向いたら何度でもふらっと立ち読みしていただければ嬉しいです。

パンフレットの記事を執筆するにあたって、自分が受験期に書いたメモや日記を見返してみました。するとこんなことが書いてありました。

「私は受験勉強を始めて以来、『勉強ばかりして一体何になるの』と聞いてくる同級生に、『他人の言葉を気にするお前が悪い』と笑う大人に、腹が立って傷ついて仕方がない」

今見ると、かつての自分はなんて殺気立った文を書いているのかと苦笑してしまいます。ですがこの頃の私は相当苦しんでいました。高校には知識を共有したり受験の過酷さを分かち合えるような友人はゼロに近く、やんちゃな同級生の中で勉強に打ち込む私はかなり浮いていたからです。日々の苦労は矮小化されるのを恐れて誰にも相談できませんでした。先生にも親にも。それと同時に「自分の気持ちをそのままに理解してくれる人の存在が恋しくてたまらない」。そのように思っていたようです(当時の私は詩人だったのでしょうか)。

大学2年生になり、受験期を回顧する今、皆さんにお尋ねしたいことがあります。皆さんはつらくありませんか。勉強することに負い目や引け目を感じていませんか。受験の失敗が自己の存在否定につながると恐れてはいませんか。もしもこれらの問いに心を揺さぶられているのだとしたら、私をあなたの味方にしてくださいませ。私がこのパンフレットから飛び出して皆さんに直接お会いすることはできません。でも忘れないでください。あなたと同じように苦しみ孤独を感じていた人がいることを。あなたはひとりじゃない。

比較文化学類はとても良いところですよ。先生も同級生もみんな多角的な視野を持ち、議論することをいとわない。差異を差別には結びつけない。「みんな違ってみんないい」を態度で示してくれる人ばかりです。ここに来れば知の交換ができます。夢を語ることができます。未来を創造することができます。自分が生きる世界の広さ、奥深さを教えてくれます。そして今と未来を愛することで過去を肯定することができます。今の私はもがき苦しんでいた高校時代の自分が愛おしくてたまらない。月並みな表現ですが、あの日々があったから今があるのだと思うことができたのです。

ここまで自分語り一辺倒になってしまいました。退屈を強いていたら申し訳ございません。お伝えしたいことを要約すると、以下になるでしょう。

皆さんが今やっていることは何一つ無駄にはなりません。一つひとつの葛藤、不安、喜び、達成感さえ未来のあなたを作る貴重な材料になります。自分を信じて自分の思う道を突き進んでください。近い将来、過去のあなたを肯定してくれる仲間、恩師に、そしてあなた自身に出会うことができるでしょう。皆さんに幸多からんことを。

編集後記

○辛いことも多いと思いますが、きっとあなたなら大丈夫です。比文はとっても楽しいところですよ。周りの方への心配りを忘れず、でもライバルには勝てるように頑張ってください。

○最後の最後まで粘ることが大事です。自信を持って！

○体調に気をつけて勉強してください！

○受かればいい。

○継続は力なりです。途中休むことは逃げじゃないと思う。応援してます！！

○志を持って無理せず頑張ろう！長く感じる受験もかならず終わりががあります！

○自分以外全員天才に見える現象に惑わされず、自信を持って本番に臨んでください。応援しています！！

○自分の努力を信じて、頑張ってください！

○睡眠時間は確保する！健康第一！

これで2021年度比較文化学類オープンキャンパスのパンフレットはおしまいです。このパンフレットが、皆さんのモチベーション向上の一助になれば幸いです。最後になりましたが、お忙しい中ご協力してくださった先生方、局員の皆様に感謝を申し上げます。

令和3年度比較文化学類オープンキャンパス パンフレット

2021年7月19日 第一版 アップロード

編集 令和3年度比較文化学類オープンキャンパスパンフレット局
アップロード 比較文化学類学類長室

令和3年度比較文化学類オープンキャンパスパンフレット局局員

渥美和香奈（局長） 鈴木里佳（副局長）

風見詩歩 徳永呂歌 石綱蒼衣 大石歩香 奥山凜 小嶋珠妃 藤森あい

執筆協力者

大林彩香（令和3年度比較文化学類オープンキャンパス委員委員長）

大橋翔和 清水星帆 箕輪千里

インタビュー協力者

伊藤純朗先生（比較文化学類学類長）

山澤学先生（カリキュラム・ガイダンス委員委員長）

イラスト

奥山凜（表紙） 風見詩歩（裏表紙）

